

身延町議会議長 殿

身延町教育委員会教育委員長

教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検及び  
評価に関する報告書（平成 24 年度対象）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき報告書を提出いたします。

目 次

|                   |    |
|-------------------|----|
| . 目的及び制度の概要       | 2  |
| . 点検・評価の方法        | 2  |
| . 点検・評価の結果        | 2  |
| 1 節 まちづくりを支える人づくり | 2  |
| 1. 生涯学習の充実        | 2  |
| （1）生涯学習の推進体制の強化   | 2  |
| （2）学習情報の整備・提供     | 5  |
| （3）学習機能の整備        | 6  |
| （4）学習施設管理・運営の充実   | 9  |
| （5）学習活動の支援        | 13 |
| 2. スポーツの振興        | 21 |
| （1）スポーツ施設の活用      | 21 |
| （2）スポーツ指導者の育成・確保  | 22 |
| （3）スポーツ活動への支援     | 22 |
| 2 節 明日を担う人づくり     | 25 |
| 1. 学校教育の充実        | 25 |
| （1）学校教育環境の整備      | 25 |
| （2）学校教育内容の充実      | 35 |
| 2. 青少年の育成         | 38 |
| （1）青少年育成推進体制の強化   | 38 |
| （2）青少年育成活動の推進     | 39 |
| 3 節 地域文化を育む       | 41 |
| 1. 文化活動の展開        | 41 |
| （1）文化振興体制の充実      | 41 |
| （2）芸術文化活動の推進      | 42 |
| 2. 歴史と文化遺産の継承     | 45 |
| （1）文化財の保護と活用      | 45 |
| （2）地域文化の継承と育成     | 48 |

## . 目的及び制度の概要

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくため、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出しこれを公表する。なお、公表については町のホームページ等への掲載を行なう。

### 【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 27 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

H20.4.1 改正

## . 点検・評価の方法

平成 24 年度における教育委員会の権限に属する事務のなかで、第 1 次身延町長期総合計画実施計画に掲げる各項目について、その管理及び執行の状況を、教育委員会内部において点検・評価した。

## . 点検・評価の結果

### 1 節 まちづくりを支える人づくり

#### 1. 生涯学習の充実

##### (1) 生涯学習の推進体制の強化

###### 社会教育委員会の開催

###### \* 事業概要

社会教育委員は社会教育法に規定されており、委員には社会教育計画についてご意見等を頂き事業の調整や検討を行っている。平成 24 年度には全国社会教育研究大会が山梨で開催され、実行委員会委員として大会に参画し研修等へも参加した。

平成 24 年度 身延町社会教育委員会

15 人で構成 会議を年 2 回開催

第 1 回 平成 24 年 6 月 15 日

第 2 回 平成 25 年 3 月 27 日

山梨県社会教育委員連絡協議会

理事会 年 2 回 委員長出席

総 会 平成 24 年 6 月 19 日 委員長他 7 名参加

全国社会教育研究大会及び実行委員会

実行委員会 4回 委員長 出席  
業務別担当者会 2回・駐車場係2人・受付、案内係2人 計4人出席  
全国大会(分科会)平成24年10月24日~26日 委員長他12人・職員3人参加  
委員報酬 平成24年度決算額 360,800円

#### \* 成果

「全国社会教育研究大会」が10月24日から3日間にわたり甲府市を中心に開催された。本町からも社会教育委員15人中12人が講演会や分科会に参加し社会教育の現状や今後の課題について研修した。この研修内容は本町の社会教育の推進に役立てるとともに、実践に向けた取組みを行っていく。

#### \* 課題

前年度の課題は、社会教育の現状と町民の意向を把握することであった。本町における過疎化・高齢化における影響は社会教育活動・生涯学習活動の振興にも深刻な影響を及ぼしている。この傾向は全国的にも同様であり社会教育関係者はこうした状況に対して新たな取組みを行なっていくことが課題となっている。また、本町における社会教育主事の未設置については、職員数の減のなかで計画的な職員配置が可能か検討を要する。

### 芸術鑑賞バスツアーの実施

#### \* 事業概要

本事業はなかとみ現代工芸美術館の展覧会事業だけでなく、他の美術館等の展覧会を鑑賞することで、美術に対する視野を広げ、もって当館への理解と関心を喚起することを目的として実施している。

平成24年度事業の概要

申込者2人につき中止。

募集内容

日時：平成25年3月9日(土)

目的地：イルフ童画館・原田泰治美術館・SUWAガラスの里(体験)

参加費：大人(6000円)小人(3000円)

#### \* 成果

前年度の課題は、「町民が美術への関心を持つような内容を企画する一方で、事業効果を検証する。」であった。このため、美術への関心を育てるためには子どもの頃からの取組みが必要であるため、今年度はじめて親子参加型のツアーを計画した。近隣の美術館鑑賞及び体験メニューを組み込んだ企画であったが申込者少数につき中止とした。実施時期、参加料の設定について企画不足の点があった。

#### \* 課題

本事業は、平成 25 年度は国民文化祭の開催のため休止するが、趣旨には関心をいた  
だいているので、平成 26 年度は参加し易い内容で実施していきたい。

## 図書館ボランティア育成支援事業

### \* 事業概要

町立図書館ボランティアとして、現在、次のグループや個人がボランティア活動に取り  
組んでいる。

| グループ名(会員数)          | 活 動 内 容  |
|---------------------|--|
| ぶっくん座(8人)           | 保育園、小学校、障がい者施設での出張おはなし会<br>図書館主催のおはなし会、イベントへの協力<br>町主催の幼児検診時の読み聞かせ       |
| 千の風(13人)            | 小中高校、高齢者施設での出張朗読会<br>高齢者宅での訪問朗読(声の宅配便事業)<br>戦争と平和の朗読会開催<br>図書館主催イベントへの協力 |
| ひだまり(15人)           | 保育園、小学校、高齢者施設での出張朗読会<br>朗読会の開催   |
| 古文書解読ボランティ<br>ア(1人) | 図書館が入手した古文書の解読、読み下し  |

総合計画後期基本計画では、「生涯学習推進体制の強化」を施策に掲げ、指導者の発  
掘と養成、学習ボランティアグループの育成・支援を挙げている。図書館では、ボラン  
ティアグループへの情報提供や所蔵資料の団体貸出し、活動のPRやボランティア派遣  
依頼の受付を担当するとともに、活動中の事故等に備えるため、ボランティア保険料を  
予算化してその活動を支援している。

事業費：33,600 円(ボランティア保険料：42 人分 図書館ボランティア及び非常勤  
職員)

30,000 円(読み聞かせ連続講座講師謝金)

### \* 成果

平成 24 年度に町立図書館がボランティアグループに対して行った支援の活動実績は  
次のとおりで、グループは活発に運営されている。

- ・情報提供 年間を通じ随時図書館ボランティアに対して読み聞かせ等各種講座の  
案内をした。
- ・資料の団体貸出数 401 点
- ・活動PR 図書館ホームページ、図書館だより等への情報掲載
- ・ボランティア依頼受付数 22 件(読み聞かせ、おはなし会等)
- ・ボランティア保険への加入 42 人

### \* 課題

平成 24 年度も引き続きボランティアグループへの支援を行ってきた。3 回連続の読み聞かせ講座を開催したところ、参加者からはこのような講座を望む声と共に読み聞かせなどのボランティアとしての活動の機会が増えることを望む声も聞かれた。一方、課題であった中富地区図書室ボランティアの発掘・育成については、十分な成果を得られなかった。ボランティアは、図書館がサービスを提供するうえで、欠くことのできないパートナーとなっている。今後も引き続き身延町全体の中で新たなボランティアを発掘し、養成していく。

## **(2) 学習情報の整備・提供**

### **地域資料デジタル化事業**

#### **\* 事業概要**

地域資料を収集、整理、保存し、広く町民に提供することも図書館の目的である。地域資料のうち、古文書、希少書、貴重書等は劣化、散逸などのおそれがあるが、図書館では入手あるいは保存が困難である。これらの資料の扱いが課題であったが、図書館では郷土の「記録された文化財産」ともいえる古文書等に関して、その所有者等から了解を得られたものについては、スキャナーやデジタルカメラなどで複写（デジタルデータ化）し、保存する取り組みを行っている。

併せて地域文化の発信、学習情報の提供という観点から、収集したデータを、町の歴史や文化等に係る事柄についてテーマごとにデジタル情報として編集し、平成 17 年度末に開設したホームページ『身延町地域資料』で公開しているが、新たな情報を入手することにホームページを更新している。

事業費：280,600 円（デジタルデータ編集加工作業員賃金）

#### **\* 成果**

平成 24 年度の主な活動実績は次のとおり。

- ・ 平成 24 年 8 月 31 日に図書館ホームページの「身延町の地域資料」に新たなコンテンツ「身延の民話」を更新。平成 25 年 1 月 30 日には、ジャンル・キーワード・タイトル（五十音順）の各ページから見られる 187 話分の「あらすじを読んでみる」を更新。また、作成に伴う整理作業として、旧下部町が地域資料『下部町のくちづたえ』を作成した際に、町民に聞き取り調査をした多くのカセットテープがあるが、これのデジタルデータ化及び民話の朗読を聞くことができるコンテンツ「見てみよう聞いてみよう」の更新を平成 25 年度も継続する。
- ・ 新しいコンテンツ「西嶋和紙」の情報収集と作成
- ・ 既存コンテンツに係る情報の追加と更新
- ・ 新たな地域資料の収集

これらの事業は、総合計画後期基本計画の「学習情報の整備・提供」に位置づけられる。「身延町の地域資料」については、県内外の研究者や学術機関からの問い合わせが増加している。このことは学習活動の素材として広く利用されているものであると考えられる。

## \* 課題

地域資料が収集・整理され、資料としてまとめられていることはさほど多くない。郷土の文化の継承という観点から、地域の歴史や民俗、文化等に識見を有する者に聞き取り等で調査し、それらを資料として整理・保存することは大変有効である。知識の散逸や分断を避けるために、各世代にわたる識者の発掘や、そのための情報提供を求めていくことは、この事業を継続していくうえ欠くことができない。次の2点については引き続き取り組んでいく。

- ・図書館が把握していない地域資料の情報収集
- ・地域の歴史や民俗、文化等に識見を有する者との連携

## (3) 学習機能の整備

### 身延地区公民館下山分館建設事業

#### \* 事業概要

平成 25 年度建設予定の身延地区公民館下山分館のための調査、実施設計を行った。下山地区には地元の意見を取り入れるため「下山分館建設検討委員会」を立ち上げて頂き、設計内容等の協議検討並びに下山区民への周知を行っていただいた。

#### H24 事業費

|                          |             |
|--------------------------|-------------|
| 身延地区公民館下山分館敷地測量業務委託      | 1,774,500 円 |
| 身延地区公民館下山分館建設予定地地質調査業務委託 | 1,207,500 円 |
| 身延地区公民館下山分館実施設計業務委託      | 6,426,000 円 |

#### \* 成果

平成 25 年度建設に向け建設費を新年度予算に計上することができた。

概要 建設地；旧下山中学校跡地 延床面積；580.41 m<sup>2</sup> 構造；木造、鉄板葺片流大屋根、部屋等；大会議室、和室、調理実習室、小会議室、事務室、研修室

#### \* 課題

竣工まで下山区及び隣接する下山小学校の理解と協力をいただきながら、建設業者と完成を目指していく。また、竣工後には下山区民による清掃等維持管理に理解をいただきながら、より一層の利用促進を図っていかなくてはならない。

### 町立図書館機能充実事業

#### \* 事業概要

図書館は、社会教育法に「社会教育のための機関」として、また、図書館法においては「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保有して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」と定義されている。町立図書館は生涯学習の場における情報の拠点として、人々の学習活動を支援するため、概ね次の事業を行いながら運営されている。

- ・資料の収集、整理、保存
- ・資料の館内閲覧・視聴、貸出サービス
- ・資料の複写サービス
- ・調査相談(レファレンス)サービス
- ・児童に対するサービス
- ・学習機会提供事業
- ・他の図書館、公民館図書室・学校図書館との連携
- ・ボランティア等との連携
- ・広報活動

|     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| 事業費 | 6,238,329 円 (図書、雑誌等の資料購入費)         |
|     | 897,181 円 (資料収集、整備、保存用消耗品等購入費)     |
|     | 2,675,400 円 (図書館情報ネットワークシステム維持管理費) |
|     | 481,074 円 (各種イベント、利用者サービスに係る諸経費)   |
|     | 94,290 円 (公民館図書室との搬送経費 (公用車関係))    |
|     | 821,078 円 (施設の維持管理、その他の経費)         |

## \* 成果

総合計画後期基本計画には、「学習機能の整備」なかで「図書館機能の充実」が謳われている。資料の充実、各種サービスの提供、教室、講座、イベントを開催してきた。また中富総合会館図書室、下部地区公民館図書室、学校図書館や県内外の公共図書館等とのネットワークやボランティアとの連携などを通して町民の学習活動を支援するために、ソフト面での図書館機能の充実を図ってきた。

以下に、平成 24 年度の主な活動実績を示す。

### 資料の収集、整理、保存

- ・新規受入資料 (図書、雑誌、視聴覚) 数 4,595 点

### 資料の館内閲覧・視聴、貸出サービス

- ・貸出延人数 8,999 人 (約 32 人 / 日)
- ・貸出資料数 36,930 点 (約 130 点 / 日)

館内での閲覧・視聴サービスに係わる数値は除く

- ・貸出予約数 673 件
- ・新規利用登録者数 197 人

### 資料の複写サービス

- ・申請件数 118 件
- ・複写枚数 1,251 枚

### 調査相談(レファレンス)サービス

- ・受付件数 26 件 軽易なレファレンス件数は除く

### 児童に対するサービス

- ・ちいさなちいさなおはなし会 38 回 (毎週火曜日) 開催  
(概ね 3 歳以下の乳幼児と保護者を対象)
- ・月例おはなし会 10 回 (概ね中学生以下を対象)

- ・検診時読み聞かせ 6回(1歳6ヶ月と3歳児検診時に実施)
- ・ブックフェスタ キッズ2012(5月27日)

#### 学習機会提供事業

- ・夏休み子ども工作教室：8月5日
- ・工作教室(子どもから大人まで):3月2日
- ・図書館座布団寄席：2月2日
- ・読み聞かせ連続講座：2月9・16・23日(土)
- ・新山梨県立図書館見学：2月22日(金)
- ・ブックフェスタ2012：3月10日・11日
- ・各種展示：子どもにすすめたい本展4月～5月)
  - 原発と放射能(6～7月)
  - 夏休み自由研究(7月～8月)
  - 戦争と平和展(8月)
  - 全国読書週間(9月～10月)
  - わたしのおすすめこの一冊・文学賞受賞作品・クリスマスの本特集(11月～12月)
  - 巳(干支)に関する話題・物故者の作品展(1月～2月)
  - 東日本大震災・本屋大賞作品(3月)

#### 他の市町村の図書館、公民館図書室・学校図書館との連携

- ・他館との相互貸借資料数 他館から借受 381点  
他館への貸出 298点
- ・中富総合会館図書室、下部地区公民館図書室とのネットワーク  
資料相互利用のため、毎週火・木・金曜に資料の搬送を実施
- ・学校図書館への団体貸出資料数 684点(8校)

| 小学校 | 資料数 | 中学校 | 資料数 |
|-----|-----|-----|-----|
| 身延  | 14  | 身延  | 15  |
| 大河内 | 96  | 中富  | 2   |
| 原   | 224 | 下部  | 135 |
| 西島  | 189 | 久那土 | 9   |

#### ボランティア等との連携

前掲 図書館ボランティア育成支援事業の項を参照

#### 広報活動

- ・図書館だよりの発行 12回(「広報みのぶ」に掲載)
- ・ホームページの運営 随時情報更新
- ・イベントチラシの掲出、配布

#### \* 課題

前年度に挙げた課題は「所蔵資料の充実」と「下部地区公民館図書室の整備とネットワーク化」であった。前者は図書館サービスの基本であり、蔵書構成に配慮しながら多様な資料の収集に努めた。後者は下部地区公民館の新築により平成24年7月からネッ

トワークで結ばれた。なお、資料搬送のネットワーク化についてはより効果的な手段を探っていく必要がある。

#### **(4) 学習施設管理・運営の充実**

##### **特殊建築物点検業務委託**

###### **\* 事業概要**

建築基準法第 12 条の規定により、建築物等の状況を専門業者に 2 年毎に点検させ、その結果を県に報告するもの。定期的な調査を行うことで、建築物の利用者の安全を確保し、事故の発生を未然に防ぐことが目的である。定期報告は特殊建築物等の定期調査(建築物の劣化・損傷の状況、防火・避難に係る施設の維持・保全の状況等)、建築設備の定期検査(換気設備、排煙設備、非常用の照明装置等)、昇降機等の定期検査(エレベーター、エスカレーター、小荷物専用昇降機及び遊戯施設)の 3 通りがある。

###### **\* 成果**

平成 24 年度指摘項目数は、古関分館 12 件、下山分館 5 件、身延分館 2 件、大河内分館 3 件、総合会館 4 件、原分館 3 件である。

施設修繕は点検結果をもとに緊急性の高いものから随時行っている。

###### **\* 課題**

対象施設の老朽化が進み修繕費の増加が懸念される。

##### **総合会館の管理**

###### **\* 事業概要**

総合会館は中富地区公民館、町建設課の事務室、図書室などを併設した施設で維持管理は生涯学習課が担当している。

平成 24 年度決算額 5,815,212 円

###### **\* 成果**

貸出等日常的な事務については、総合会館に設置された中富地区公民館の館長が行っており良好に管理されている。

###### **\* 課題**

修繕等は館長からの要請や消防法・建築基準法で定められた点検の結果に基づき、緊急性・必要性の高いものから行っている。総合会館建設から 30 年以上を経ていることで今後修繕費の増加が見込まれる。特に、地下に埋設された重油タンクの改修が法令改正により設置後 40 年(平成 34 年 3 月)までに必要になっていること、近隣にある静川分館も老朽化していることなどを踏まえ、利用者の利便性・安全性のために適切な施設改善を講じる必要がある。

## 下部地区公民館の管理（新規）

### \*事業概要

平成 24 年 5 月に竣工し、平成 25 年 2 月には生涯学習課が下部支所から公民館に移転し、公民館管理運営の機能強化が図られた。

平成 24 年度決算額 3,366,625 円

### \*成果

良好に管理されている。

### \*課題

特に課題はない。

## 身延各分館の管理

### \*事業概要

各分館の維持管理経費（光熱水費、燃料費、消防法・浄化槽法に基づく点検費、建築法に基づく修繕費等）を予算計上している。使用頻度などは各分館により様々ではあるが、多くの地域住民に利活用されている。

平成 24 年度決算額 5,224,413 円

### \*成果

地域主導型公民館運営がはじまり、施設管理についても意識が高まり管理がしやすくなってきている。

### \*課題

施設の修繕については、予算削減のなか利用者に不便をかけないように可能な限り対応していく。

## 中富各分館の管理

### \*事業概要

西嶋、静川、原の 3 分館の維持管理に係る経費（光熱水費や燃料費のほか消防法・建築基準法に基づく点検費用や修繕費など）を予算計上している。診療所が併設されている大須成、曙分館については福祉保健課の管理となるが、5 分館の清掃業務委託は生涯学習課が専門業者へ委託している。

平成 24 年度決算額 3,480,371 円

### \*成果

貸出等日常的な事務については、各地区の住民の中から館長・主事が置かれており、良好に管理されている。

## **\* 課題**

分館長からの要望や法令に基づく点検での指摘事項に対して、緊急性・必要性の高いものから修繕等を行っている。静川、原の2分館は老朽化のため今後修繕要望や法令に基づく点検で不備を指摘される箇所が増えていくことが予想される。

今後は、利用者の利便性や安全性を確保するため近隣の既存公共施設へ分館機能を持たせるなど、公共施設の集約について模索する必要がある。

### **下部各分館の管理**

#### **\* 事業概要**

古関分館は、旧古関中学校の校舎を平成15年度に公民館に改修し、古関出張所と古関診療所が併設されている。出張所職員が1人配置されており、建物の日常的な管理を行っている。電気・ガス等の光熱水費及び浄化槽等の管理経費は下部支所で計上しており、消防法・建築基準法に基づく点検費用及び建物の修繕関係は生涯学習課で対応している。

久那土分館については、働く婦人の家の建物を分館としており、施設管理は下部支所で行っている。下部分館については、下部地区公民館管理となっている。

平成24年度決算額 978,822円（古関分館のみ）

#### **\* 成果**

古関分館については、臨時職員が1人配置されており、貸出や清掃等の日常的な管理を良好に行っている。久那土分館についても、職員が1人配置されており古関分館と同様である。

## **\* 課題**

古関分館については、旧古関中学校の校舎を改修し使用している。建築から20年以上が経過しているため、大雨の時には雨漏りが数箇所見られる。また消防法・建築基準法による点検結果でも外壁の劣化（ひびや塗装剥れ）や貯水槽の老朽化が指摘されている。屋根についても経年劣化が心配され、塗り替えが必要な状況であると考えられる。

### **飯富集落館の管理**

#### **\* 事業概要**

飯富つどいの家の敷地は国有財産であるため、国と本町の間で貸付契約を締結している。飯富区は貸付契約に基づく賃借料を町に納付し、町が国に納付している。

契約による貸付期間は平成38年度末までで、その間の賃借料は3年ごとに改定される。

平成24年度決算額 19,854円

#### **\* 成果**

賃借料は町から国へ納付されるとともに、区から町への納付も滞りなく行われた。

**\* 課題**

現状特に課題はない。

**集落公民館整備費補助**

**\* 事業概要**

身延町集落公民館整備費補助金交付規程に基づき集落館の施設整備に対し、予算の範囲内において補助金を交付している。

平成 24 年度実績 5 件 補助金交付額 2,543,000 円

- ・ 中山集落公民館 84,000 円
- ・ 西嶋下町公民館 500,000 円
- ・ 下部第 5 町会公民館 264,000 円
- ・ 元町公民館 525,000 円
- ・ 梅平二区公民館 1,170,000 円

**\* 成果**

集落公民館整備の一助となった。

**\* 課題**

現状特に課題はない。

**町立図書館運営体制充実事業**

**\* 事業概要**

図書館専任職員として 3 人(内、司書資格所持者 2 人)と臨時職員 2 人、非常勤職員 3 人が配置されている。土・日・祝日の開館や木・金は閉館時間を延長し、各種サービスを提供している。職員の各種研修への参加、人材の確保や育成など運営体制の充実に努めている。

事業費： 5,812,146 円 (職員研修費、臨時職員賃金等)

**\* 成果**

平成 24 年度の活動実績は以下のとおり。

各種研修への職員の派遣

- ・ 山梨県立図書館主催  
図書館職員サービス講座 (7/31、9/28、10/31)
- ・ 山梨県立図書館主催  
子どもの読書活動推進スキルアップ講座 (6/14)
- ・ 山梨県教育委員会主催  
図書館経営研修 (6/29、12/6、3/13)
- ・ 山梨県教育委員会主催

#### 図書館館長研修（2/28）

- ・山梨県公共図書館協会主催  
研修会（5/31）、山梨県図書館大会（11/30）  
第1回図書館協力者会議（10/19、2/28）
- ・静岡県公共図書館協会主催  
静岡県図書館大会（10/29）
- ・文化庁主催（8/8・9・10）  
平成24年度図書館等職員著作権実務講習会

他に、山梨県公共図書館協会の「児童奉仕研究部会」「地域資料部会」に所属し、年間を通して実務的な研究を行った。

#### 臨時職員等の設置(雇用)

- ・臨時職員：2人（週5日勤務）
- ・非常勤職員：5人（勤務ローテーションは下表のとおり）

| 曜日 | 時間/日   | 人数 | 主たる業務                  |
|----|--------|----|------------------------|
| 土  | 7.75時間 | 1  | カウンター業務                |
| 日  | 7.75時間 | 1  | カウンター業務                |
| 木  | 3時間    | 1  | カウンター業務(延長開館対応)・所蔵資料整理 |
| 金  | 3時間    | 1  | カウンター業務(延長開館対応)・所蔵資料整理 |
|    | 6時間    | 1  | 所蔵資料整理等                |

上表には、地域資料デジタル化事業に係る職員は含んでいない。

図書館では、前記のとおり、国や県等が主催する研修へ可能な限り職員を派遣した。このことにより、図書館をめぐる情勢変化や当面の課題に関する理解を深め、実務に参考となる知識や技術を習得することができた。

昨年度の課題であった「図書館運営に係る評価手法の確立へ向け、その方法について調査研究に取り組む」は、先進事例や関連資料等を収集し、内容について調査、検討を進め、図書館運営委員会に諮りアンケートによる評価方法を実施した。

#### \*課題

総合計画後期基本計画には、「学習施設管理・運営の充実」が掲げられ、「生涯学習施設の目的に応じて、運営管理体制の最適化に取り組みます」としている。

図書館は「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保有して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」とされている。この目的を達成するためには、司書の専門的知識の蓄積とスタッフの育成及び所蔵資料の充実など長期的視野に立った運営が必要となる。図書館運営のポイントは、専門職を含めた人的資源をどれだけ安定的に確保し、育成、投入できるかという点にかかっている。

#### (5) 学習活動の支援 身延町総合文化祭

## \*事業概要

平成 21 年度から文化協会の実質的な組織統一に向けて、「専門部の交流と統合の促進」を目標に掲げて取り組んだ結果、会場を 1 箇所として本年度で 4 回目となる。

### ・芸能発表会の部

開催日時：平成 24 年 10 月 14 日（日）午前 9:15～午後 3:30

会場：身延町総合文化会館

出演団体（グループ等）:

平成 24 年度 出演団体 27 団体（301 人） 来場者数：約 450 人

当日は、同会場にて茶道部による茶席（10：00～15：00）と囲碁部（9：00～15：00）による囲碁大会も催された。

### ・文化文芸作品展示会の部

開催期間：平成 24 年 11 月 23 日（金）～12 月 2 日（日）10 日間

会場：なかとみ現代工芸美術館

出展作品数：平成 24 年度 1,107 点、参観者数：約 1,059 人

## \*成果

芸能発表会については、出演者の高齢化等により昨年度と比べると出演団体が 10 団体減少となった。例年課題となっている空席の多さには、各出演団体が出演後には他の団体の発表を聞くために会場に残ることで、絶えず 100 人前後が発表を観覧していた。作品展示会では、概ね前年度と同程度の出品数だったため、配置についても昨年度の例に倣い、バランスよく展示作業を行うことができた。

## \*課題

芸能発表会では「集落の行事と重なって参加できないので実施日を検討してほしい」といった声が聞かれた。また、出演者の高齢化等により、出演団体、出演者数も減少傾向となっているため、今後文化協会内でも問題点を洗い出し検討を行ってきたい。

作品展示会については、アンケートでも「良かった」という意見が多かったが、「展示作品一人一点が厳守されていない」、「年々作品が少なくなっている」、「実施していることを知らない人が多いので学校へも知らせたらどうか」等の意見もあった。

芸能発表会、作品展示会のいずれも問題点を協議し、また、周知方法等について検討し、町民が興味を持ち、気軽に足を運んでもらえるような内容に努める。

平成 25 年度は国民文化祭が実施されることから、第 5 回目となる総合文化祭は 26 年度に実施する計画でいる。早めに文化協会専門部を中心とした調整会議を開催し、諸課題を検討していく。

## 成人式（中央公民館事業）

### \*事業概要

新成人を祝福し、成人としての義務や責任感を自覚することを期待して実施している。記念品として新成人がそれぞれ選んだ書籍を贈った他、記念撮影終了後には玄関前で夢

や希望を書いた風船を空へ放つ「バルーンセレモニー」を行なった。

開催日時：平成 25 年 1 月 13 日（日）

会場：身延町総合文化会館

平成 24 年度新成人数：159 人

平成 24 年度決算額：406,974 円

#### **\* 成果**

予定していたスケジュールのとおりにより式典が行われ、新成人としての門出を祝うことができた。

#### **\* 課題**

成人者への記念品をこれまでから変更し、好きな本を選べる選択式としたため、例年に比べ受付で時間を要した。本の申込段階でも新成人に対して連絡を再三しなければならなかったことがあったので、平成 26 年成人式では改善する必要がある。

また、いわゆる荒れる成人式対策として、内容を短時間かつ簡素なものにして数年がたった。進行が妨げられるような事態はないが、参加者の中には携帯電話などに夢中な者も見られる。参加者が集中でき記憶にも残るような式典内容を模索したい。

### **発明クラブ（中央公民館事業）**

#### **\* 事業概要**

少年少女発明クラブは、将来のエンジニアを目指してもらうため、異年齢集団の中で、自分で考え粘り強く物を作りあげることの大切さや喜び、創造力を身につけることをねらいとして開設している。

指導者として理科、電気、技術科等専門家をお願いし、年会費は 1 人 1,000 円である。

平成 24 年度 会員数 16 人 指導員 2 人 補助金交付額 180,000 円

#### **\* 成果**

山梨県立科学館主催「第 15 回科学工作展」において、本クラブ会員の作品「光る旗」が日本弁理士会会長賞に輝き、このほか 2 人も各賞を受賞した。11 月の子ども・若者育成支援身延町推進大会において表彰の伝達がなされるなど、ものづくりの楽しみや意欲、創造力を高めることになった。

#### **\* 課題**

今年度の会員数は昨年度の倍となったが、今後会員数が減少していくことが予想される。対象年齢を広げることや受講内容の見直し、新規指導員の確保が必要となっている。

### **身延山大学講座（中央公民館事業）**

#### **\* 事業概要**

「身延山」と「日蓮」を通して地域文化を知るための共催講座である。平成 24 年度は仏教史の講義とともに「日本の仏教」をテーマに講座を開催した。全 5 回のシリーズの参加料は一人 1,000 円とし、町内各地をはじめ県内外から老若男女を問わず毎回 60 人程の受講者があった。

H24 年度 町補助金：230,000 円（総事業費 540,703 円） 受講者数：83 人

#### **\* 成果**

仏教の歴史や地域文化を学習する内容で、例年多くの受講者があり非常に好評である。生涯学習を実践していくなかで、地域文化を知るための講座は多くの人の関心を集めている。今後もこのような生涯学習の場を多くの方々に提供していくことが重要である。

#### **\* 課題**

身延山大学のさまざまな研究を町民の生涯学習のため、更に提供していただけるよう協力していく。

### **親子で作って楽しもう教室**

#### **\* 事業概要**

子どもの科学への興味を高めるため中富総合会館を会場に県内の講師の指導のもと、年間 10 回開催している。

- ・ 対象：小学生とその保護者
- ・ 募集定員：親子 20 組 40 名
- ・ 年間受講料：1 組（2 人）1,000 円、（3 人）1500 円。

平成 24 年度 参加者 14 組 34 人 決算額 225,036 円

#### **\* 成果**

定員 20 組に対する応募率は組数で 70%、人数で 85%に留まった。子どもの科学への興味を高めるとともに、一つのことに対し親子で取り組む場の提供となっている。

#### **\* 課題**

現在講師をしている方々が高齢化していることから、同教室の運営方法や講師の確保などが課題として挙げられる。

### **三澤川ふれあい農園管理**

#### **\* 事業概要**

下部地区の花づくりいっぱい運動の拠点施設としてふれあい農園が整備され、ローズガーデンやチューリップ等の農園の植栽管理をはじめ、集落への草花の種子や育苗の配布を行っている。下部地区花づくり実行委員会が管理業務を受託している。

平成 24 年度決算額：1,025,590 円

## **\* 成果**

春にマリーゴールドの種子を集落に配布することにより、下部地区全体で花づくり運動が展開されている。なお、秋にもビオラの苗を配布予定だったが昨夏は異常高温のためビオラの苗が正常に生育せず配布することができなかった。育苗の課程においては、久那土中学校生徒による育苗体験学習をはじめ、久那土ボランティアの会や下部教育会による農園管理により花づくり運動の気運を高めることができた。しかしながら花づくりを担う人材が得られなくなり農園管理も難しい状況であること、また、花づくりも集落公民館に浸透していることから、花づくり実行委員会を開催し、本会を解散したので三沢川ふれあい農園の管理については、平成 24 年度をもって終了することになった。

## **\* 課題**

「花づくり運動」は下部地区公民館事業として継続する予定で、春と秋の 2 回、花の種子の配布を実施していく。農園については今後整理していく。

## **ホタル保護事業**

### **\* 事業概要**

町内の自然保護と河川環境の美化に努め、ホタルの自然発生を助長するため旧下部町では「ホタル保護条例」が制定されていた。この条例と施行規則に基づき、ホタル保護活動を実施している集落・区を中心とした保存会（一色・湯町・釜額）へ施設管理（河川・公園・水路等）のため、補助金を交付してきたが、平成 22 年度をもって補助金も終了となり保護活動を集落の活動に委ねている。

## **\* 成果**

各保存会では、集落内の施設（公園・案内所等）の管理と河川や水路の環境美化活動を実施するとともに、保護パトロール、餌となるカワニナの養殖や上陸の調査研究等を行い、自然保護の意識高揚が図られた。

## **\* 課題**

一色地区・湯町地区でのホタル見物や「一色ホタルまつり」への参加等、環境保全の意識の高揚や自然保護活動への理解が広まってきている。引き続き保存会活動の自立を支援しながら環境保護に努める必要がある。

## **身延地区公民館事業**

### **\* 事業概要**

身延地区公民館においては本年度より地区公民館長を配置した。

主な事業として、身延地区各小中学校を対象に身延地区席書大会を実施している。

また、各地区老人クラブへ協力を行いながら、事業の周知や参画などを行っている。

## 身延地区席書大会

競書：平成 25 年 1 月 8 日～31 日の授業内（各学校共通）

審査会：平成 25 年 2 月 7 日（木）13：00～ 身延町総合文化会館

展示会：平成 25 年 2 月 9 日（土）～2 月 11 日（月・祝）身延町総合文化会館

平成 24 年度決算額 2,343,945 円（館長報酬等込み）

### \* 成果

席書大会では、各校から 400 点近くの作品が出品され特別賞のほか各賞を設けた。書家・各学校長による審査会を開催し、その後作品展を 3 日間開催した。各受賞作品をはじめ多くの作品から書道に対する意欲が感じられた。

### \* 課題

今後、地区住民の意見を聴きながら、新たに事業を実施していくことが必要である。

## 中富地区公民館事業

### \* 事業概要

中富地区では中富総合会館を地区公民館と定め専任の公民館長を配置している。主な事業として、「高齢者学級」による講演会（「中富学級」との合同開催）県内研修、交通安全教室、一芸会、「中富学級」による観劇教室、「生きがいつくり教室」による中富気功教室を実施した。（地元中学生との交流グランドゴルフは悪天候により中止となった。）

平成 24 年度決算額 2,691,889 円（館長報酬等込み）

### \* 成果

事業内容に工夫をこらすことで、参加者が意欲的に楽しみながら参加している。

### \* 課題

各催しとも多くの参加者が集まり賑わっている。この賑わいを維持するため引き続き工夫を重ねていく。

## 下部地区公民館事業

### \* 事業概要

下部地区公民館の主要事業として、「下部シニア学級」を開設している。内容はホタル籠づくり教室、健康教室、陶芸教室、社会見学等がある。また、平成 23 年度までは国保事業として実施されてきた生きがいつくり健康教室（リズム体操教室・床運動教室・気功教室）を平成 24 年度のみ公民館事業に位置付けて実施している。

平成 24 年度決算額 420,897 円（館長報酬はカウンセラー兼任のため含まれていない）

### **\* 成果**

下部シニア学級では、学級生同士が楽しく和やかなうちに各種事業が行われており、親睦、交流の場にもなっている。

### **\* 課題**

年々学級生は高齢化し、参加者は減少傾向にあり、参加しやすい事業計画に取り組んでいく必要がある。

## **身延各分館運営事業**

### **\* 事業概要**

身延地区では、身延・豊岡・大河内・下山の4分館に地域住民の中から分館長・主事を置き、自主運営をスタートさせた。分館長と主事が連絡調整を図り、地元の学校との合同運動会や文化活動として公民館祭を開催している。

### **\* 成果**

それぞれの地域の特色を生かし、公民館関係者や地元の関係団体と連携を図る中で、地域住民が積極的に参加し、地域主導型の公民館運営、地域協働の町づくりに繋がっている。

### **\* 課題**

平成24年度より分館自主運営化を行い、特色ある分館活動を進めている。その中で自主運営による円滑な事業推進のため、生涯学習担当が適切な指導助言を行いコミュニティ機能を持つ分館を維持・運営をしていくことが重要であるが、地域によって課題も多い状況である。

## **中富各分館運営事業**

### **\* 事業概要**

中富地区では、西嶋・大須成・静川・曙・原の5分館に、地域住民の中から分館長と主事が置かれ、地域ごとの事業を実施している。

### **\* 成果**

既に自主運営が定着しており、年間を通じて地域の特色を生かした事業を行った。

### **\* 課題**

地域によっては、高齢化が進み事業継続が厳しい状況のため、状況把握とともに対策を講じる必要がある。

## 下部各分館運営事業

### \* 事業概要

下部分館は、青少年育成カウンセラーが、地区公民館長と分館長を兼務している。古関分館については平成7年度から分館長が主事を兼務している。久那土分館についても、平成元年度から分館長が主事を兼務している。

### \* 成果

古関分館及び久那土分館については、平成24年度から自主運営化がされ、おおむね活発に各種事業が展開されている。古関分館長及び久那土分館長からそれぞれ退任の申し出があったが、古関分館については、集落からの選出を基本に後任を推薦していただき、後任者の了解を得る中で、集落館長主事会議において承認がされた。久那土分館については、分館長選考委員会を組織し、後任を選出し後任者の了解を得た。

### \* 課題

分館運営については、自主運営を基本に、自由な発想の中で公民館活動を展開し、地域協働のまちづくりのための支援を講じていく。公民館主事については館長が兼務しているが、主事を配置できるよう館長と調整していく必要がある。

## 分館運営費補助

### \* 事業概要

社会教育活動事業費補助金交付要綱に基づいた分館運営補助。

平成24年度決算額 1,600,000円（10分館×150,000円、1分館×100,000円）  
身延4分館 中富5分館 下部2分館

### \* 成果

各分館による自主的な運営により、各地域で特色ある公民館活動が期待できる。平成24年度からは身延地区、下部地区も同様の運営費補助金が交付されている。

### \* 課題

補助金の定額制については積算方法や分館活動の自主運営の取組み内容を含め、検討していく必要がある。また、公民館条例で規定している公民館への補助金の支出の適否については、公益性から問題はないと考えるが、検討を継続していく。また、補助金の有効活用のため分館事業の支援に努めていかななくてはならない。

## 集落館運営費補助

### \* 事業概要

社会教育活動事業費補助金交付要綱に基づいた集落館への運営補助

### \* 成果

**\* 課題**

高齢化による集落館の運営は非常に困難な状況にある。集落館運営の実情を考慮しながら、補助金交付の主旨や内容についても検討していく必要がある。

**2. スポーツの振興**

**(1) スポーツ施設の活用**

**体育施設整備事業**

**\* 事業概要**

・ 体育施設の鍵管理

10 施設(下部中学校体育館、下部町民グラウンド、下部町民体育館、身延小学校体育館、身延町民テニスコート、身延町民体育館、大河内小学校体育館、下山野球場、下山小グラウンド、下山小学校体育館、)の鍵(ナイター照明含む)の貸出を5名に委託している。

・ 遅沢スポーツ広場管理業務

施設の利用受付、用具の貸出、施設内の芝の刈り込み、清掃等の維持管理業務を社団法人峡南広域シルバー人材センターに委託している。

・ 体育施設の維持管理業務

3 施設(遅沢スポーツ広場グラウンドゴルフ場、下山野球場、八木沢グラウンド)の草刈り、清掃業務を1人と2団体に委託している。

・ 施設の整備

夜間照明施設の電球取替や古閑体育館浄化槽漏水修繕、豊岡体育館屋根修繕などの施設修繕が19件あった。

・ 原体育館解体工事

東日本大震災後使用禁止となっていた原体育館の解体工事を施工した。

・ 体育施設管理条例を現状に合わせるため全部改正した。

**\* 成果**

鍵の管理委託については、利用者が利用時間に合わせて施設の近くで鍵が借りられるよう、便宜を図っている。遅沢スポーツ広場は、管理業務委託により現地での施設利用申込みと道具の貸出ができ、利用者へのサービス向上につながった。施設の維持管理作業及び修繕により、良好な状態で管理できている。

**\* 課題**

体育施設は数多くあり施設の維持管理が課題となっている。施設の整理統合を検討するとともに、利用団体による維持管理について協働が図れるよう理解を求めていく。

## 勤労青年センター管理運営事業

### \* 事業概要

身延町観光振興協議会と平成 22 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで指定管理業務協定を締結した。引き続き平成 28 年 3 月 31 日まで指定管理を継続した。

### \* 成果

指定管理により施設の適切な管理・運営が行われるようになった。自主事業としてラフティング事業を行い有効に活用されている。

### \* 課題

施設老朽化による大規模修繕が発生してくることが想定される。修繕については早めの対応が課題となってくる。

## (2) スポーツ指導者の育成・確保

### スポーツ振興協議会、スポーツ推進委員

#### \* 事業概要

##### ・スポーツ推進委員

定数 20 人に対し、現在 18 人の委員を委嘱している。スポーツ推進委員が参加した事業は、峡南ブロックスポーツ推進委員連絡協議会研修会（囲碁ボール）13 人、山梨県スポーツ推進委員研修スポーツ大会（ウォーキング）12 人、いきいき山梨ねんりんピック輪投げ大会への協力（8 人）その他として定例会を毎月開催した。

#### \* 成果

委員自ら資質の向上を目指すため各種研修会に参加し、自主研修にも努めている。町で開催されるスポーツ事業の運営や地域の軽スポーツやレクリエーション教室などで指導を行い地域の健康づくりを支援している。

#### \* 課題

町民の健康づくりを推進するためにも、スポーツ推進委員による軽スポーツやレクリエーションの普及活動を進めていく必要がある。また、未設置となっているスポーツ推進審議会を設置し、身延町スポーツ推進計画の策定を進めスポーツの振興を行っていかなければならない。

## (3) スポーツ活動への支援

生涯スポーツ振興のため各種スポーツ教室の開催を支援し、軽スポーツなどの普及を図った。

## スポーツ推進委員事業

### \*事業概要

#### 軽スポーツ普及事業

- ・ 公民館・集落公民館支援事業

開持集落公民館（10/21）

種目：軽スポーツ

- ・ パークゴルフ教室

日時：平成 25 年 1 月 26 日（土）午後 1 時 30 分から 3 時 30 分

場所：遅沢スポーツ広場パークゴルフ場

参加者：37 人

### \*成果

スポーツをする機会を提供することができた。

### \*課題

普及事業を拡大し、多くの地域で実施できるようにしたい。また、パークゴルフについては、普及の目的で教室を開催してきたが、大会の開催に向けての検討を行いたい。

## 各種スポーツ大会等謝礼

### \*事業概要

- ・ 謝礼

エアロビクス教室 200,000 円 3B体操教室 20,000 円

- ・ 参加賞、入賞メダル

みのぶ健康マラソン 160,524 円

### \*成果

2 スポーツ教室と 1 大会を開催し、スポーツに接する機会を提供できた。

### \*課題

新たに 3B 体操教室を開催したが、参加者は計画よりも少なかった。幅広い年代が行える体操なので普及に努めたい。

## スポーツ事業運営経費

### \*事業概要

90,510 円（下記事業の消耗品の経費合計）

- ・ エアロビクス教室

日時・回数：平成 24 年 5 月 16 日（水）～10 月 3 日（水）

午後 8 時から 9 時 20 回開催

場所：中富総合会館

参加者：63人、延べ650人

・第49回山梨県一周駅伝競走

期日：平成24年12月1日(土)・2日(日)

場所：県内 走行距離168.9km(20区間)

参加：16チーム

古閑出張所が第14中継所となり、施設の使用、関係者による運営協力を行った。

本町からは、8人が西八代・南巨摩チームの選手として選考され、9区間に出場し、過去最高の7位という成績に貢献した。

・ラージボール卓球教室

日時：平成24年11月18日(日)午前9時から12時

場所：静川体育館

参加者：24人

・みのぶ健康マラソン

日時：平成24年12月16日(日) 午前8時40分から12時

場所：富士川クラフトパーク

参加者：ファミリー、小学生、中学生、一般部門に合わせて197人の申込があり177人が参加した。

大会運営役員としてスポーツ推進委員、体育協会、交通安全協会、食生活改善推進委員会など86人が大会に関わっている。

・3B体操教室

日時：平成24年10月16日(火)、10月23日(火) 午後1時30分から3時

場所：身延総合文化会館、下部地区公民館

参加者：8人

・第63回富士川駅伝競走

期日：平成25年2月10日(日)

場所：市川三郷町の『みたまの湯』から身延町の『身延総合文化会館』までの5区間(46.3km)

参加者：一般の部20チーム、壮年の部20チーム

本町からは身延町体協チームが一般の部と壮年の部に参加した。

役員として126人が大会運営に関わった。

**\*成果**

町内における大会の開催は、町民のスポーツへの関心を高め、スポーツ意識の向上や健康の増進に繋がっている。エアロビクス教室は1回平均32人の参加者があり、事業が定着してきた。

**\*課題**

現在開催している大会のほか、身近で参加しやすい大会を開催し多くの方にスポーツ

を楽しめる場を提供していきたい。

## スポーツ事業研修等補助金、負担金

### \*事業概要

#### ・補助金

体育協会活動事業補助金：3,000,000 円

スポーツ大会出場事業（全国大会・関東大会）補助金：489,000 円（3 団体）

県スポーツ・レクリエーション祭選手派遣事業補助金：300,000 円（13 競技）

#### ・負担金

第 49 回山梨県一周駅伝競走負担金：50,000 円

第 63 回富士川駅伝競走負担金：50,000 円

### \*成果

補助金により個人負担の軽減が図られ、負担金により円滑な大会運営が行われた。また、専門部強化育成事業、地域事業の振興が図れるよう補助金の見直しを図った。

### \*課題

体協補助金については、新規に専門部強化育成事業、地域事業を立ち上げた。新規事業の周知を図っていく。

## 2 節 明日を担う人づくり

### 1. 学校教育の充実

#### (1) 学校教育環境の整備

##### 学校適正規模の推進

### \*事業概要

適正配置審議会の答申の趣旨に沿い、本町の現状を認識したうえで早急に学校規模の適正化に取り組むべきであるとし、未来を担う子どもたちを育む教育環境を整備し、活力ある学校づくりを目指すため、学校統合計画・前期計画を策定し、これを進めてきた。

この前期計画は、平成 24 年 4 月に静川小学校及び西嶋小学校が新たな西島小学校として開校したことで、具体的な成果を見て終了した。

前期計画の終了に伴い、引き続き教育環境を改善することを最重要課題と位置づけ、概ね平成 30 年度までを計画期間とする小中学校後期統合計画を策定した。

### \*成果

前期計画の対象となった学校の統合は、計画変更を行い統合時期は延ばしたものの平成 24 年度において計画に沿って実施され終了した。

前期計画では「一定規模の集団の中での教育活動を展開することの必要性」から学校

統合に取り組んできた。

学校統合計画・前期計画の成果は次のとおりである。

- ・豊岡小学校と身延小学校の統合・・・平成22年4月1日に両校が統合した。
- ・下山中学校と身延中学校の統合・・・平成23年4月1日に両校が統合した。
- ・静川小学校と西嶋小学校の統合・・・平成24年4月1日に両校が統合した。

前期計画において新たに誕生した学校は、児童数・生徒数の増により、人間関係が広がるとともに前期計画の目的の一つである切磋琢磨する環境が整い、活力ある学校づくりにつながっている。また、保護者から心配の声があった通学問題や児童生徒の融和など、特に問題は生じておらず、円滑な学校経営がされている。

後期統合計画は、前期計画を進めている中でいただいた保護者、地域住民また町議会議員等の意見等や、平成23年12月に小学生以下の児童の保護者を対象としたアンケート結果も可能な限り反映するよう努めて後期計画を策定し、まず議会に対し、年度末に2回の説明会を開催した。

#### \*課題

前年度の課題としては、速やかな統合の必要性を課題としたが、依然として少子化傾向は続いているため、今年度も課題は変わらない。

後期統合計画の説明会を全町的に開催し、保護者等の関係者や地域住民の理解を得ながら速やかに計画を進める必要がある。

### 教育研修センター事業

#### \*事業概要

教育関係職員の研修に関すること

小学校外国語活動について大河内小学校の校内研究会に参加して、授業への指導助言を行った。

教職員地域研修会の実施

本町への新任の教職員、希望教職員の参加の下、「身延を知る」をテーマに役場の課長数名を講師に町行政について研修を行った。参加者は、45人であった。

「学校応援団」の活動

身延町のモデル地区として、大河内地区の「みんなで大河内の子どもを育てる協議会」の総会を6月に、実践発表会を2月に実施した。事例発表は塩之沢地区と丸滝地区が行い1年間の成果と課題を確認しあった。

教育に関する専門的、技術的事項の調査研究に関すること

児童生徒の教育の向上に関すること

その他、教育の充実と振興を図るための事業。

教育研究センター校に新たに身延中学校を指定し研究を進めた。なお、公開発表は原小学校が行った。

県教育委員会指定校・自主研究校として中富中学校が「学力向上フロンティア

校」として公開研究会を実施した。また、久那土中学校が「学び」について自主公開研究会を行った。

広報活動

「研修センターだより」を発行して、各戸に配布した。

#### \* 成果

・学びの「向学館」を設立し、教育委員会・教育研修センターの町内小中学生の学力向上への支援体制ができた。

・地域ぐるみでする子育ての実践発表会が大河内地区で一回りすることができた。「みんなで大河内の子どもを育てる協議会」も3年目を向かえ、全ての地区の実践発表を終えて地域で子どもを育てるという気運が醸成されつつある。

地域ぐるみで行う子育ての実践及び研修ができた。

#### \* 課題

・次年度以降は児童生徒を対象に、例えばEnglish Campなどの体験活動を行い、英語への興味関心や英語によるコミュニケーション能力などを高めていきたい。

・中学3年生の学習講座は、基礎学力の養成だけでなく学習意欲のある生徒も対象とすることを検討する。

### 地域ぐるみ学校安全体制整備事業（スクールガードリーダー）

#### \* 事業概要

学校の管理下における事故・事件が大きな問題となっている近年の状況を踏まえ、子どもたちが安心して教育を受けられるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取り組みを実施することを目的とする。

本町では、平成18年6月から、2人のスクールガードリーダーを委嘱し、小学校7校に対して登下校の際の子どもへの指導、スクールガード隊（見守り隊）への指導、通学路の安全確認等を実施している。

スクールガードリーダーは、主として学校周辺を登下校の時間帯にそれぞれ2時間程度、ルートを設定しローテーションで巡回している。

決算額：755,950円（人件費）

#### \* 成果

事業を開始してからは特に、重大な事件・事故も発生しておらず、この事業自体の効果は大きい。

#### \* 課題

学校ごとの体制や取り組みの姿勢の格差をなくし、各学校ともスクールガード隊と連携し、さらに積極的な取り組みを進めることが課題である。また、平成24年度から、南部警察署にスクールサポーターが配置されたので、連携し更に成果を挙げていきたい。

## 学校施設環境整備事業

### \*事業概要

学校施設は、児童生徒の学習・生活の場として、豊かな人間性を育むために重要な意義を持つとともに、災害時には地域の人々の避難場所としての役割をも果たすことから、その安全性の確保は極めて重要である。

また経年により、通常発生する学校建物の損傷、機能低下に対する復旧措置等を促進することにより、教育環境の改善を図り学校教育の円滑な実施に資する。

厳しい財政状況にあるが、良好な教育環境を維持するため、最小経費で最大効果が得られるよう工法・手法等を検討するなかで施設整備を実施している。

### \*成果

限られた予算の中で、毎年、校舎・体育館の改修等工事を実施している。子どもたちにとって、安心・安全な教育の場を確保できる環境づくりは着々と進んでいる。

### \*課題

今後、後期統合計画による学校統合後の対応を含め、各学校を計画的に修繕・改造するにあたり、設計士等のコンサルタントの計画作りへの参画を視野に検討する。

## 【校舎等建築参考資料】

管内小中学校施設一覧表〔身延町〕

| 番号 | 学校名    | 建物区分  | 建築年月 | 構造   | 保有面積 | 耐震診断<br>改修状況 | 大規模改<br>造の有無 | 大規模改修<br>想定<br>定年 | 建替想定年<br>(竣工年+50<br>年) | 備考<br>今後の整備予定等 |              |       |      |       |         |     |     |         |
|----|--------|-------|------|------|------|--------------|--------------|-------------------|------------------------|----------------|--------------|-------|------|-------|---------|-----|-----|---------|
|    |        |       |      |      | (㎡)  |              |              |                   |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
| 1  | 久那土小学校 | 校舎    | S    | 63.3 | RC・3 | 2,081        | 新耐震          | 無                 | H29                    | H50            | 給食室(厨房+食堂)あり |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 給食室   |      |      |      | 294          |              |                   |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 屋内運動場 |      |      |      |              |              |                   |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
| 2  | 下部小学校  | 校舎    | S    | 62.3 | RC・3 | 2,792        | 新耐震          | 無                 | H28                    | H49            | 給食室(厨房+食堂)あり |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 給食室   |      |      |      | 373          |              |                   |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 屋内運動場 |      |      |      |              |              |                   |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
| 3  | 西島小学校  | 校舎    | S    | 61.3 | RC・3 | 2,000        | 新耐震          | 無                 | H26                    | H48            |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 屋内運動場 |      |      |      |              |              |                   |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | H            |              |                   |                        |                |              | 4.9   | W・1  | 45    |         |     |     |         |
| 4  | 静川小学校  | 校舎    | S    | 59.3 | RC・3 | 1,950        | 新耐震          | 無                 |                        |                | H24.3廃止      |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 屋内運動場 |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 57.3  | S・2  | 680   | 新耐震     | 無   |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 63.3  | RC・3 | 2,000 | 新耐震     | 無   | H30 | H51     |
| 5  | 原小学校   | 校舎    | S    | 63.3 | S・1  | 50           | 新耐震          | 無                 |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 屋内運動場 |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 58.3  | S・2  | 680   | 新耐震     | 無   | H26 |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | H            |              |                   |                        |                |              | 18.8  | RC・2 | 3,154 | 新耐震     | 無   | H43 | H68     |
| 6  | 下山小学校  | 体育倉庫  | H    | 19.1 | RC・1 | 40           | 新耐震          | 無                 |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 屋内運動場 |      |      |      | H            |              |                   |                        |                |              | 18.8  | S・1  | 1,193 | 新耐震     | 無   | H43 |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 54.3  | RC・3 | 2,326 | 診断OK    | H22 |     |         |
| 7  | 身延小学校  | 校舎    | S    | 54.3 | RC・2 | 725          | 診断OK         | H22               |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 屋内運動場 |      |      |      |              |              |                   |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 56.3  | RC・2 | 1,763 | 診断OK    | 無   |     | H22.3廃止 |
| 8  | 豊岡小学校  | 校舎    | S    | 40.9 | S・1  | 700          | 診断OK         | S63               |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 屋内運動場 |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 48.3  | RC・3 | 2,199 | H12改修耐震 | H12 | H35 |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 49.1  | RC・3 | 460   | H12改修耐震 |     |     |         |
| 9  | 大河内小学校 | 校舎    | S    | 45.3 | S・2  | 849          | H9改修         | S62               | H27                    |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | H            |              |                   |                        |                |              | 5.8   | RC・3 | 2,380 | 新耐震     | 無   | H30 | H55     |
|    |        | 校舎    |      |      |      | H            |              |                   |                        |                |              | 9.3   | S・1  | 830   | 新耐震     | 無   |     |         |
| 10 | 久那土中学校 | 校舎    | S    | 56.5 | RC・3 | 1,289        | 新耐震          | 無                 | H27                    | H43            |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | H            |              |                   |                        |                |              | 11.2  | S・2  | 854   | 新耐震     | 無   | H36 |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 48.3  | RC・3 | 1,165 | H10改修   | H1  | H35 |         |
| 11 | 下部中学校  | 校舎    | S    | 49.3 | RC・3 | 1,800        | H10改修        | H2                |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | (技術室) |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 49.3  | RC・1 | 280   | 診断OK    |     |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 50.3  | S・1  | 53    |         |     |     |         |
| 12 | 中富中学校  | 校舎    | S    | 49.3 | S・1  | 760          | 診断OK         | H5                |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 33.12 | W・1  | 1,419 | H7耐震化   | 無   |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 42.3  | S・1  | 780   | 診断OK    | S61 |     | H23.3廃止 |
| 13 | 下山中学校  | 校舎    | S    | 46.3 | RC・3 | 1,764        | H11改修        | H1~3              |                        | H33            |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 46.8  | RC・3 | 2,923 |         |     |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 46.8  | S・1  | 28    |         | S61 |     |         |
| 14 | 身延中学校  | 校舎    | S    | 46.8 | S・1  | 28           | 診断OK         |                   |                        |                |              |       |      |       |         |     |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 36.12 | S・1  | 949   |         | H33 |     |         |
|    |        | 校舎    |      |      |      | S            |              |                   |                        |                |              | 36.12 | S・1  | 949   | 診断OK    |     | H33 |         |

H18～H24学校関連主要建設・建築事業

| 年度           | 項目            | 事業費(千円)   | 内 容   |                 |
|--------------|---------------|-----------|---|-----------------|
| 18           | 小学校管理費        | 18,480    | 空調機器設置工事(身延西小・南小・東小)                            |                 |
|              | 下部小学校管理費      | 1,181     | 校庭排水工事  |                 |
|              | 西嶋小学校管理費      | 1,071     | 校舎前舗装工事   |                 |
|              | 下山小学校建設事業費    | 1,150,361 | 屋外プール校舎棟、屋内運動場及び外構工事監理業務委                       | 18,092          |
|              |               |           | 敷地確定測量、登記事務委託                                   | 3,195           |
|              |               |           | ネットワーク機器整備工事設計監理業務委託                            | 500             |
|              |               |           | 旧校舎棟解体工事設計監理業務委託                                | 1,417           |
|              |               |           | 校舎棟新築工事   | 443,947         |
|              |               |           | 屋内運動場新築工事                                       | 157,854         |
|              |               |           | 屋外プール新築工事                                       | 83,790          |
| 外構工事         | 391,272       |           |   |                 |
| ネットワーク機器整備工事 | 3,570         |           |   |                 |
| 旧校舎棟解体工事     | 24,990        |           |   |                 |
| 施設備品及び教材備品   | 21,734        |           |   |                 |
| 19           | 小学校管理費(西嶋小学校) | 12,932    | 西嶋小学校体育館屋根改修工事 工事請負費<br>設計監理委託料                 | 11,970<br>962   |
| 20           | 小学校管理費(静川小学校) | 15,592    | 静川小学校体育館屋根改修工事 工事請負費<br>設計監理委託料                 | 14,857<br>735   |
| 21           | 教育総務費         | 64,607    | 身延町立小中学校ガラス飛散防止対策工事<br>設計監理委託料                  | 61,194<br>3,413 |
| 22           | 小学校管理費(身延小学校) | 150,155   | 身延小学校大規模改造工事                                    | 99,001          |
|              |               |           | 監理業務委託料(屋内運動場改修工事含)                             | 2,415           |
|              |               |           | 身延小学校屋内運動場改修工事                                  | 45,831          |
|              |               |           | 身延小学校屋内運動場下水道接続工事                               | 860             |
|              |               |           | 身延小学校プール下水道接続工事                                 | 1,050           |
| 身延小学校浄化槽撤去工事 | 998           |           |   |                 |
| 23           | 教育委員会費        | 84,746    | 大規模改造工事(空調)下部小、西嶋小、静川小、原小、<br>大河内小、久那土中、身延中、中富中 | 63,242          |
|              |               |           | 大規模改造工事(空調)管理業務委託                               | 1,295           |
|              |               |           | 旧下山中学校舎等撤去工事                                    | 19,789          |
|              |               |           | 旧下山中学校舎等撤去工事管理業務委託                              | 420             |
|              | 中学校管理費        | 9,996     | 身延中学校下水道接続工事                                    | 9,996           |
| 24           | 小学校管理費        | 8,645     | 身延小消火栓配管改修工事                                    | 4,935           |
|              |               |           | 特殊建築物定期調査及び外壁調査                                 | 3,710           |
|              | 中学校管理費        | 1,043     | 特殊建築物定期調査                                       | 1,043           |

山間地児童送迎用タクシー運行事業

\*事業概要

学校と居住地が遠く離れているため徒歩通学が困難で、なおかつ公共交通機関が整備されていない地域からの通学者に対し、町がタクシー代を補助し便宜を図っている事業である。

大塩地区から西島小へ、曙地区から原小へ、清子地区から身延小へ、小原島地区から下山小へ通う児童の下校時にタクシー利用への補助をしている。

決算額(学校毎): 西島小: 25,280円

原小: 32,430円

身延小: 790,810円

下山小: 486,420円

学校毎の対象者数及び運行起終点: 西島小: 2人(上大塩 西島小)

原小: 3人(古長谷 原小)

身延小: 7人(清子 身延小)

下山小: 2人(小原島 下山小)

## \* 成果

保護者の経済的負担はなく、安全・安心に登下校できている。

## \* 課題

デマンドバス運行との連携等、効率的な利用を模索する必要がある。

## スクールバス運行事業

### \* 事業概要

学校と居住地が遠く離れているため徒歩通学が困難で、なおかつ公共交通機関が十分に整備されていない地域からの通学者に対し、町が独自にスクールバスを運行して児童生徒の登下校をサポートしているもの。

古閑地区からの児童生徒の輸送

中富地区の曙地区、八日市場地区以南の地域生徒の中富中への輸送

帯金・八木沢地区、和田・大島地区児童の大河内小への輸送

豊岡地区児童の身延小への輸送

下山地区生徒の身延中への輸送

静川地区児童の西島小への輸送

決算額：

古閑地区：2,450 千円（人件費、車両運行費）

中富中： 3,126 千円（人件費、車両運行費）

大河内小：4,320 千円（運輸事業者へ通年の業務委託）

身延小： 3,309 千円（人件費、車両運行費）

身延中： 3,206 千円（人件費、車両運行費）

西島小： 2,910 千円（人件費、車両運行費）

対象者数及び運行起終点：

古閑地区：小学生 9 人、中学生 4 人（古閑 久那土小中）

中富中：22 人（旧曙小 役場）

大河内小：37 人（鯉原入口 大河内小、大島 大河内小）

身延小：23 人（横根中 身延小）

身延中：31 人（小原島 身延中）

西島小：33 人（静川地区 西島小）

運行の性質：

古閑地区は、統合条件によるもの。

中富中は、統合条件と遠距離通学の混在。

大河内小は、遠距離によるもの。

身延小は、統合条件によるもの。

身延中は、統合条件によるもの。

西島小は、統合条件によるもの。

## \* 成果

保護者の経済的負担はなく、安全・安心に登下校できている。

## \* 課題

中学校での、放課後・土日等の部活動などによる運行方法を統一する。

### 身延町遠距離通学費補助金交付事業

#### \* 事業概要

学校と居住地が遠く離れている児童・生徒の通学費用の保護者負担軽減を図るため、遠距離通学費の補助を行っている事業である。

基本的には小学校は 4 km、中学校は 6 km 以上を対象に補助し、また特例（学校統合における条件等）により補助している地域もある。

補助金は基本的に児童・生徒の保護者に対し交付する。

決算額（学校毎）:

下部小 86,040 円（電車・バス）

身延中 2,761,370 円（電車・バス） 22,000 円（自転車）

学校毎の対象者数:

下部小（長塩 1 人、波高島 3 人）

身延中（電車・バス 40 人、自転車：清子 2 人）

## \* 成果

保護者の経済的負担を減らし、安全・安心に登下校できている。

## \* 課題

交通機関利用者数の減少により電車、バス等の運行本数が減少し、児童生徒にとって利用しにくくなっている。今後は運行本数の確保や、運行時刻に合わせた学校の始業・終業時刻の再検討などが課題である。

### 中富給食センター運営事業

#### \* 事業概要

安全で栄養面も十分に配慮されたおいしい給食を提供することによって、単に児童生徒の健康の保持増進に努めるだけでなく、将来にわたり自分の健康を考えた望ましい食習慣を身に付けさせることなどを目的に、2 小学校・1 中学校分として約 260 食の調理配送を行っている。

具体的な取り組みとしては、安全でおいしい給食づくり、衛生管理の徹底及び異物混入防止、食物アレルギーへの対応、食育の推進などがある。

また、調理施設の維持管理や衛生面の充実に努めているほか、給食費保護者負担金の収納確保にも取り組んでいる。



## 身延給食センター運営事業

### \*事業概要

安全で栄養面にも十分に配慮されたおいしい給食を提供することによって、単に児童生徒の健康の保持増進に努めるだけでなく、将来にわたり自分の健康を考えた望ましい食習慣を身に付けさせることなどを目的に、3小学校・1中学校に約470食の調理配送を行っている。

また、調理施設の維持管理や衛生面の充実に努めているほか、保護者負担金の収納確保にも取り組んでいる。

決算額：62,661,720円（シルバー人材センター委託料も含む）

うち賄材料費 25,444,073円

提供給食数：年間 90,511食

提供先：身延地区（小学校3校、中学校1校、身延給食センター）

調理員数：7人（正規3人、臨時2人、シルバー2人）

給食費収納状況：

| 現年度分 | （調定額）       | （収納額）         | （未納額）      |        |
|------|-------------|---------------|------------|--------|
|      | 25,466,943円 | - 25,290,523円 | = 176,420円 | 99.31% |

過年度分

|  |          |            |            |        |
|--|----------|------------|------------|--------|
|  | 857,390円 | - 562,300円 | = 295,090円 | 65.58% |
|--|----------|------------|------------|--------|

+ 合計

|  |             |               |            |        |
|--|-------------|---------------|------------|--------|
|  | 26,324,333円 | - 25,852,823円 | = 471,510円 | 98.21% |
|--|-------------|---------------|------------|--------|

給食運搬の順：大河内小 下山小 （センターに戻り） 身延中  
（身延小は児童自らによる運搬）

1食単価：小学校270円（年額52,110～54,270円）

中学校300円（年額54,900～57,000円）

### \*成果

平成24年度は、前年度に引き続き「東日本大震災」及び「福島第一原発事故」の影響が残る中でのスタートとなったが、子どもたちにおいしく栄養バランスのとれた給食を提供することができた。特に地域の食材や郷土料理、季節や風習に因んだメニューや新たな食材の採用など、より魅力ある献立づくりのための工夫を行い、食生活全般への関心を高めることができた。

また、毎年5月に行われる衛生管理講習会に参加し、衛生面の充実・安全の確保に務め、手洗い等の重要性を再確認した。

給食費の収納については、保護者負担の公平性確保の観点から未納解消に積極的に努め、電話連絡や毎月の訪問等により督促を行った。

また、前年度も児童手当の一部を給食費へ充当した結果、収納率の向上、未納額の減少につながってきている。

### \*課題

前年度の課題は、安全でおいしい給食づくり、衛生管理、健康管理、地産地消であっ

た。献立の工夫、調理員の意識向上により成果は得られているが、引き続き安全でおいしい給食づくり、衛生管理、健康管理を継続していきたい。

また当施設に限らず、町内各施設の老朽化や食数の減少等をみると、町内全体で1施設とするセンター化も検討すべきではあるが、学校統合計画と不可分な関係にあるため関係者間での慎重な協議を要する。

給食費の収納については、電話連絡や戸別訪問をきめ細かく行ったこと、児童手当からの充当により、対前年比は、現年度分が99.20%から99.31%、過年度分が50.81%から65.58%となっており、収納率の向上と未納額の減少を図ることができた。しかしながら、未納総額は471,510円であることから、引き続きその縮減に努めなければならない。

食品の放射線物質の拡散等など、学校給食に及ぼす影響も少なくなかったが、平成24年度から始まった県の放射線検査を活用することで、適確に対処し「安全でおいしい給食」を提供できるように努めていきたい。

## 下部学校給食事業

### \*事業概要

安全で栄養面にも十分に配慮されたおいしい給食を提供することによって、単に児童生徒の健康の保持増進に努めるだけでなく、将来にわたり自分の健康を考えた望ましい食習慣を身に付けさせることなどを目的に給食の調理を行っている。

また、調理施設の維持管理や衛生面の充実に努めているほか、給食費保護者負担金の収納確保にも取り組んでいる。

下部小学校、久那土小学校にそれぞれ調理場が設置されており、下部小・中学校、久那土小・中学校各2校分ずつを調理している。

決算額：36,636,689円

うち賄材料費 12,327,835円

提供給食数：年間 42,349食

提供先：久那土小・中学校、下部小・中学校

調理員数：久那土3人、下部3人（ともに臨時3人）

給食費収納状況：現年分調定額 11,951,580円 収入済額 11,908,740円（99.6%）

過年分調定額 587,116円 収入済額 410,356円（69.9%）

未納額：現年分42,840円 過年分176,760円

給食運搬の状況：久那土小、下部小から隣接する中学校へ調理員がそれぞれ配食車で運搬。

1食単価：小学校270円、中学校300円

### \*成果

学校給食を取り巻く環境は大変に厳しいものがあったが、子どもたちにおいしく栄養バランスのとれた給食を提供することができた。特に地域の食材や郷土料理を加えたり、季節や風習に因んだメニューや新たな食材を採用するなど、より魅力ある献立のための

工夫を行い、食生活全般への関心を高めることができた。また、毎年5月に行われる衛生管理講習会に参加し、衛生面の充実・安全の確保に努め、手洗い等の重要性を再確認した。

給食費の収納については、保護者負担の公平性確保の観点から未納解消に積極的に努め、電話連絡や毎月の訪問等により理解を求め督促を行った結果、収納率の向上、未納額の減少につながってきている。

#### **\*課題**

児童・生徒数の減少に伴い、調理数が大幅に減少しているなか、身延地区、中富地区ではセンター方式で1調理場あたり3～5校の給食を調理している。各センター・各給食室の老朽化などを考慮すると、下部地区を含めた町全体のセンター化も検討すべきではあるが、いずれ学校統合計画と不可分な関係にあるため関係者間での慎重な協議を要する。

給食費の収納については、電話連絡や戸別訪問をきめ細かく行い、未納額を前年度末の半分以下にすることができた。厳しい経済情勢もあるが少しでも未納額を減らしていくため、今後もきめ細かい連絡や訪問を行うことや、児童手当の充当など、未納額を縮減できるよう努力していきたい。

「福島第一原発事故」の影響のため、食品への放射線物質の拡散など、学校給食に及ぼす影響も少なくなかったが、平成24年度からは県の放射線検査(1施設月1回2品目程度)も始まった。これらに活用することで、今後も「安全でおいしい給食」を提供できるよう努めていきたい。

## **(2) 学校教育内容の充実**

### **小中学校特別支援員の配置事業**

#### **\*事業概要**

文部科学省の調べでは、小中学校の普通学級において、LD(学習障害)ADHD(注意欠陥多動性障害)高機能自閉症等で特別な支援が必要な児童生徒は約6.3%の割合で在籍しているといわれており、教師のマンパワーだけでは十分な支援が困難な場合がある。

このような状況を踏まえ、様々な障害をもつ児童生徒に対する学校生活上の介助や学習活動上の支援などを行うことを目的とした「特別支援教育支援員」を学校に派遣することとし、学級運営の円滑化を図っている。

本町では、平成19年度より、各小中学校に1人(小学校で1校あたり年間504時間、中学校では1校あたり年間478時間)の支援員を派遣し、この事業を実施している。

## 平成24年度決算額等

| 学校名(支援員数) | 活用日数(日) | 活用時間(時間) | 賃金(円)     |
|-----------|---------|----------|-----------|
| 久那土小(1)   | 122     | 459.50   | 459,500   |
| 下部小(1)    | 142     | 532.00   | 532,000   |
| 西島小(2)    | 244     | 948.25   | 948,250   |
| 原小(1)     | 189     | 510.75   | 510,750   |
| 下山小(1)    | 176     | 534.00   | 534,000   |
| 身延小(1)    | 177     | 523.00   | 523,000   |
| 大河内小(1)   | 184     | 534.00   | 534,000   |
| 久那土中(1)   | 147     | 480.00   | 480,000   |
| 下部中(1)    | 115     | 478.00   | 478,000   |
| 中富中(1)    | 125     | 473.00   | 473,000   |
| 身延中(1)    | 166     | 477.25   | 477,250   |
| 合計        | 1,787   | 5,949.75 | 5,949,750 |

### \* 成果

各学校においては、本事業を充分理解し、最大限に活用されている。そのため、児童生徒ひとり一人の教育的ニーズは把握され、その持てる力を高め、生活や学習の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援も概ね適切に行われた。

### \* 課題

保護者との教育相談を具体的な視点で続け、該当児童生徒の成長を共有する。

通級指導教室やスクールカウンセラー等関係機関との連携を図り、教員個々の資質向上に努める。

### 中学生修学旅行補助事業

#### \* 事業概要

修学旅行に要する経費(パスポート取得経費等を除く。)のうち、2分の1(1,000円未満切り捨てる。)に相当する額を、10万円を限度として町内中学校に在籍する中学校3年生の保護者に対して助成する事業。

### \* 成果

中学生の修学旅行は、海外旅行を実施している学校もあるため、その費用も多額である。そのため、保護者の経済的負担を軽減するという意味においては、その成果は高く評価されている。

|                |            |     |          |          |
|----------------|------------|-----|----------|----------|
| 決算額(学校毎): 久那土中 | 564,000円   | 12人 | 一人当たり助成額 | 47,000円  |
| 下部中            | 1,100,000円 | 11人 | 一人当たり助成額 | 100,000円 |
| 中富中            | 1,617,000円 | 33人 | 一人当たり助成額 | 49,000円  |
| 身延中            | 2,607,000円 | 64人 | 一人当たり助成額 | 40,734円  |

### \* 課題

海外旅行以外の学校との均衡を図るため、定額補助金の検討、あるいは保護者の負担

を考慮し、海外への修学旅行の検討が必要である。

### **中学校外国語指導助手設置事業**

#### **\*事業概要**

語学指導を行う外国青年招致事業（JET プログラム）によってきた外国語指導助手（ALT）3人をすべて民間委託とした。久那土中、下部中、中富中、身延中に派遣している。中学校の英語の授業に助手として、英語科教諭と共に外国語教育充実のため、まさに生きた教材として指導に当たっている。

#### **\*成果**

外国語指導助手の存在は、英語（外国・異文化）に対する興味・関心の動機づけや意欲の向上に大きく結びつき、英語の発音や英語でのコミュニケーションを図ろうとする意欲の向上に役立った。

また、国際理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるとともに、国際協調の精神を養うのに役立っている。

#### **\*課題**

外国語指導助手の指導者としての資質の向上をはかることを課題としてきたが、この課題の解決として、平成 24 年度からは、県内外で実績のある民間事業所の外国語指導助手の活用を始めた。

今後も、教授法に長けた、コミュニケーション能力の高い外国語指導助手を確保し、英語教育の質を高めるよう努力する。

### **小学校外国語指導助手設置事業**

#### **\*事業概要**

小学校学習指導要領の改訂により、新学習指導要領では小学校 5・6 年で週 1 コマ「外国語活動」を実施することとなった。平成 21・22 年度は移行期間、平成 23 年度から全面实施し、引き続き独自に国際理解教育事業として実施してきた。

外国語活動においては、音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じて、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、児童が積極的にコミュニケーション能力の素地を養うことを目標として様々な活動を行う。

#### **\*成果**

・平成 23 年度から引き続き町内の全小学校に同じ民間事業所の外国語指導助手が指導を行い、外国語活動の授業内容のレベルの向上を図った。

・小学校 1 年生～6 年生までが、外国語活動または国際理解教育として、外国人指導助手とふれあうことができ、コミュニケーション能力が向上している。

・外国語の音声やリズムなどに慣れ親しむとともに、日本語との違いを知り、言葉の

面白さや豊かさに教えることが出来た。

・日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることを教えることが出来た。

#### **\* 課題**

平成 23 年度から全小学校に派遣している。従って、まだ、問題点そのものを把握しきれてない状況にあり、今後は先ず課題や成果を確実に把握し事業を展開していくことが必要となる。

### **幼稚園就園奨励費補助事業**

#### **\* 事業概要**

現在身延町には幼稚園の設置はないが、本町に住所を有し町外の幼稚園に通園する 3 歳児、4 歳児及び 5 歳児の保護者に対して入園料及び保育料を減免する場合に交付する補助事業である。

町民税所得課税額 183,000 円以下の保護者が対象で、その所得状況や扶養する子どもの数等に応じて、補助額が増減する。

#### **\* 成果**

平成 24 年度は減免措置を受けた該当児はなかった。

#### **\* 課題**

国庫補助制度を運用しての補助金である。他町においては、この補助率よりも低く設定している場合もあるようだが、身延町では当分このまま運用していく。

## **2. 青少年の育成**

### **(1) 青少年育成推進体制の強化**

#### **青少年育成町民会議事業**

#### **\* 事業概要**

青少年が心身ともにたくましく、健やかに成長することを願い、町民会議では、町をはじめとする関係機関や団体と緊密に連携して育成活動に取り組んでいる。年間を通して、地域と連携し通学時の見守り活動や環境浄化活動を実施し、また育成会及び子どもクラブへの支援に取り組んできた。8 月には、管内小中学生による町長と語るつどい、11 月には子ども・若者育成支援推進強調月間として推進大会を開催するなど地域ぐるみの運動を展開し次代を担う青少年の健全育成に努めた。

平成 24 年度補助金 年間 1,500,000 円

#### **\* 成果**

地域の方々に見守られ子ども達は健やかに成長している。「地域の子どもは地域が守

り育てる」を合言葉に、見守り隊、育成会、町民会議事業への参加をとおり、全町民が青少年の健全育成に対して高い意識を保っている。

#### \*課題

町全体で青少年育成活動を広めていくことが必要である。このため現在3地区にある町民会議支部組織がより有効に機能するよう組織の統一や運営方法の見直し・改善について協議を継続していく。

## (2) 青少年育成活動の推進

### 青少年自然の里管理・運営

#### \*事業概要

山梨県立なかとみ青少年自然の里は生涯学習推進の拠点として、豊かな自然とふれあい、集団宿泊生活を通し、自律・責任・協力・友愛・奉仕の尊さを体験的に学習させ、ふるさとを愛するたくましい心豊かな青少年を育てることを目的として、昭和62年度にオープンした社会教育施設である。

施設には、管理棟と宿泊棟(定員108人)、キャンプ場(定員100人)、体育館、陶芸工房、和紙工房、自然散策コース等があり、地域の特色を生かした21の活動プログラムと年間を通しての主催事業を合わせながら、運営に取り組んでいる。また、平成18年度からは指定管理者制度の導入により身延町が受託者となり、17年度以前に引き続き管理・運営を行っている。

決算額：歳入歳出とも50,418,479円

#### ・歳入の内訳

使用料 8,564,857円(17%)・県補助金 1,671,463円(3%)・県委託金 29,292,000円(58%)・町繰入金 10,890,159円(22%) 繰入金の内訳は(一般職員の人件費70%・他30%)となっている。

#### ・歳出の内訳

総務費 36,537,478円(73%)・運営費 5,754,435円(11%)・食堂事業費 8,126,566円(16%)

運営体制：所長代理1人、事務補助1人、管理人1人、指導担当3人

#### \*成果

平須地区の起伏に富む地形と富士山の頂を眺望できる大自然の中で、工夫した体験活動と特色ある活動プログラムを取り入れながら、充実した宿泊型自然体験活動の場となっている。

平成24年度の状況

#### 利用者数について

- ・宿泊棟については67団体、延5,702人の利用があったが、対前年度比では1団体、延人数746人の減少となった。これは9.10.11月に県外利用者が全くなったことによる。

運営についてはこれまでと同じく夏休み期間中の全てを営業日として取り組んだ。また、団体が休業日の利用を計画した場合、営業することで要望に応えらるとともに、利用者の増加を図ってきた。

- ・キャンプ場については7団体、延人数530人で、前年度に比べ1団体減であるが、延べ人数では県内利用者は58人増となったが、県外利用者は276人減となり436人となった。これらは県外のボーイスカウト等の団体は関東近県の施設を回りながら利用しているためだと考えられる。
- ・日帰り利用は全て県内の団体であり、34団体、延べ1,262人で、対前年度比7団体減、延人数78人の増であった。
- ・郷土食を除く食事数については、利用者9,448人で前年度との比較では1,161食の減となった。これらも県外利用者数の減が大きく影響したものである。

#### 体験活動について

- ・和紙11団体で3団体・篆刻7団体で8団体、陶芸17団体で1団体の減となり、反面、郷土食は30団体で3団体の増となった。

#### 主催事業について

利用者増を図るため、新規事業の立ち上げや、15人以上という受け入れ枠を外した。また、個人・家族でも利用ができるようにもしたが、「親子ふれあい自然体験教室」「少年少女自然体験教室」「ちょっと体験講座」「なかとみ現代工芸美術館共催事業」など年間19事業で575人の定員に対し、参加者は372人で参加率は65%であった。新規事業は本栖湖一周ハイキングやヤマメの里での釣り体験などを取り入れた。

#### 施設利用者のアンケート結果について

- ・【利用目的】では「集団宿泊活動」「スポ少・部活動の合宿」「林間学校」「その他」の順となっている。
- ・【利用した理由】では「必要なプログラムがある」「利用しやすい距離にある」「利用料金が安い」「施設の設備が充実している」「施設がきれい」の順となっている。
- ・【施設までのアクセス】では「今のままでよい」が77%「改善すべき点」が21%だった。
- ・【改善すべき点】では「道が狭い」「大型バスが入れるように」がほとんどだった。これらは毎年同じであるが、「有料でも送迎があるとよい」が新しく出てきた。
- ・【利用料金】では「今のままでよい」が94%を占めている。
- ・【活動プログラム】では「今のままでよい」が90%を占めている。
- ・【宿泊棟トイレ、浴室、洗面、備品、設備】では「今のままでよい」が82%を占めているが、「キャンプ場にシャワーがほしい」が新しく出てきた。
- ・【施設の活動内容】では「満足・やや満足」が92%を占めている。
- ・【また利用したいか】では「利用したい」が92%を占めている。
- ・【施設全体において満足か】では「満足・やや満足」が94%を占めている。

前年度までの課題であった、「大型バスが自然の里まで入れない」については、バス運行経路の支障木の伐採を行うとともに、転回場所の整備が平成 25 年 5 月頃までになされる見込みなので、利用者は安全に自然の里近くまで来ることができるようになるものと思われる。

#### **\* 課題**

平成 24 年度は夏場の県外利用者が大きく減少したため、特に、関東近県のボーイスカウトばかりではなく、それ以外の団体（スポーツ少年団・学校法人等）への利用案内、勧誘に積極的に取り組む必要がある。なかとみ青少年自然の里ならではの体験学習について新規事業を取り入れた利用案内・チラシの配布や予約状況の発信などホームページを充実し、施設の魅力について PR を継続をしていく必要がある。また、新規利用者ばかりではなく、リピーターが何度でも利用してくれるような施設にしていかななくてはならない。

### **3 節 地域文化を育む**

#### **1. 文化活動の展開**

##### **(1) 文化振興体制の充実**

###### **文化協会等育成事業**

###### **\* 事業概要**

文化協会は平成 19 年度に 3 地区に支部をおく組織体制となり、名目上は組織統合が図られた。しかし、組織運営や事業の実質的な統合には相当の期間を要すると判断し、当面は、専門部の交流を後押しするなど組織統合に関する機運の醸成に努めた。前年度に引き続き「専門部交流と統合の促進」を目標に掲げ、文化芸術の情報交換と支部相互の交流を目的とした「第 4 回身延町総合文化祭」を開催した。芸能発表部門と文芸作品等の展示部門に分かれて開催したが、会員が文化活動を通して多くの仲間と交流を深める活動ができた。

###### **\* 成果**

平成 24 年度は、活動目標に「専門部交流と統合の促進」「身延町総合文化祭の開催」を掲げ、専門部の交流を後押しするなど組織統合に関する機運の醸成に努め、地域間の交流と連携を深めることができた。

###### **\* 課題**

平成 24 年度は実質的な組織内統合を目指す中で、「総合文化祭」を開催することに取り組んだ。地域ごとの受け止め方に温度差があるなか、偏ることなく協力し合いながら、少しずつ歩みよる方向性が得られた。今後においても、専門部を中心とした交流と連携を促進することを、日常的な活動を通し推進しなければならない。

また、支部についても、具体的な方策を模索し早期の統合を目指す。

## (2) 芸術文化活動の推進

### 第 28 回国民文化祭やまなし 2013 事業

#### \* 事業概要

国民文化祭は、国民の文化活動の機運の醸成や人的ネットワークづくり、地域文化の掘り起こしや新たな文化創造などを目的として昭和 61 年度に第 1 回目が東京都で開催された。平成 25 年は山梨県が会場になり、身延町においては、切り絵部門が 9 月 7 日から 11 月 10 日まで、美術展「工芸」が 10 月 12 日から 11 月 4 日まで、かるた部門が 11 月 2 日から 11 月 3 日 の間、開催される。

平成 24 年度 決算 4,250,488 円 ( 県負担金 3,095,000 円町負担金 1,155,488 円 )

#### \* 成果

平成 24 年度は身延町実行委員会内に、各分野に精通する方を部会員とする部門別専門部会 ( 企画運営委員会 ) を設置し、募集要項等各部門の開催に向けた協議を続けた。平成 25 年度開催に向け多くの方々に身延町へ足を運んで頂けるように、また、町民にはこの機会に参加等を促しながら、文化の祭典となるように準備を進めている。

#### \* 課題

3 部門の事業実施は市を除けば身延町だけである。この機会に町民へ文化の振興をはかっていくとともに、来町者への「おもてなし」にも努力していく。

### 和紙の里運営事業

#### \* 事業概要

和紙の里は、430 年以上の歴史を有し、地場産業でもある西嶋手漉和紙の活性化等を目的としてオープンした。全国の和紙の産地から 2,500 種類以上の和紙を取り揃え、展示販売や紙漉技法をアレンジした各種紙漉体験、卒業証書漉きなどをおこなっている。また、和紙の調査研究や新商品の開発等も西嶋和紙工業協同組合と連携し行っている。

- ・ 運営体制：職員 2 人(内 1 人指導員)、臨時職員 1 人(指導員)、パート 6 人(内 1 人施設管理)
- ・ 決算額：歳入 33,153,362 円、歳出 51,035,394 円
- ・ 売上額：使用料/納付金収入 1,801,014 円、雑収入(和紙販売・体験他) 31,352,348 円

#### 【体験活動実績】

| 体験メニュー    | 参加者数   |
|-----------|--------|
| 字漉き       | 519 人  |
| うちわ漉き     | 1502 人 |
| 灯り漉き      | 861 人  |
| タペストリー漉き  | 667 人  |
| 凧漉き       | 2 人    |
| 時計ストーリー漉き | 13 人   |
| 卒業証書漉き    | 865 人  |

## \* 成果

和紙販売について、手軽に購入できるよう商品の小分け売り、オリジナル和紙小物販売、また、リピーターの方にも目新しさが感じられるよう、取引先を新たに増やすことや、オリジナル和紙製品（半切落水紙など）を揃えることで展示商品を充実させた。

前年の課題は「平成 25 年の国民文化祭で多くの来場者が予想されるので、これに向け、創意工夫を重ね様々な手法を用いて身延町及び和紙の里をアピールしていく。」というものであった。これについては、県内外のマスコミに積極的に働きかけたり、新たな試みとして、富士川流域の観光施設と共同で「教育モニタリングツアー」を受け入れた。今後、「富士川くんだり」と和紙の里のセットツアーが期待される場所である。

## \* 課題

和紙販売・手漉き和紙体験は、ともに売上が減少し続けている。この改善のため販売については、和紙特別講座以外に新たな講座（一閑張り講座）を開催することで、町民に施設の周知と売上の増加を図りたい。体験については、ハローキティの手漉き和紙体験が実施可能になるので、ユーザーの多い小学校へPRを行うほか、ホームページやメディアでPRしていきたい。

## なかとみ現代工芸美術館運営事業

### \* 事業概要

なかとみ現代工芸美術館は、紙、陶磁器、漆、染色、ガラスや金属など多彩な材料と技法・技術を駆使して生まれる現代美術の作品を収集、展示することで常に新しい「美」に触れることのできる美術館として平成 10 年 5 月にオープンした。

年間 5~6 本の企画展・巡回展と共に、各種講座や芸術鑑賞ツアーを開催するなど文化、芸術の普及活動に力を入れている。

運営体制：館長 1 人（非常勤） 職員 2 人（内 1 人学芸員）、パート 1 人

決算額：歳入 993,430 円、歳出 27,286,978 円

売上額：使用料収入 879,841 円、雑収入 113,589 円

## \* 成果

なかとみ現代工芸美術館の企画展として、「美術工芸展 2012」や「ろうけつ染展」など 5 本の展覧会を開催した。また、青少年自然の里との共催事業「宿泊陶芸教室」を開催するなど芸術意識の高揚を図る各種事業を行った。特に「国民文化祭」のプレ企画として開催した「美術工芸展 2012」では全国に作品募集を行い、当館の知名度向上並びに平成 25 年の国民文化祭をPRすることができた。

前年の課題は「東日本大震災以降、自粛・出控えといった全国的な傾向から入館者が減少しているので、展覧会以外でも魅力ある「講座・教室」を取り入れ、賑わいのある美術館を目指す。」というものであった。この課題のため、観光課と共にJR大宮・静岡駅、また名古屋物産展でのキャンペーンに参加し、またホームページへの掲載や他の美術館へのポスター掲示・マスコミへの取材要請等を行った。なお、「ロボットの世紀」

では、子どもたちの入館者数が非常に多く、工作教室も非常に好評であった。しかし、笹子トンネル事故等もあり冬季の来館者数が延び悩んだ。

#### \* 課題

平成 25 年度は国民文化祭という大きな事業が予定されている。例年以上に事前 P R を行う必要がある。通常の企画展にも子どもや若年層向けの講座・教室を取り入れ、街頭 P R 等を実施して、美術館・和紙の里をアピールしていく。

### 総合文化会館自主事業

#### \* 事業概要

芸術文化に関する町民の意識の啓発と教養の向上を目的にした事業。

- ・ NHK 公開録音「ラジオ深夜便のつどい」。入場者数 400 人(集客率 100%)
- ・ ふるさと民謡・民舞フェスティバル 2012。入場者数 332 人。(集客率 83%)
- ・ 航空自衛隊航空中央音楽隊身延ふれあいコンサート。入場者数 400 人。(集客率 100%)
- ・ 高嶋ちさ子トーク&コンサート「ちさ子の部屋」。入場者数 331 人。(集客率 83%)
- ・ 宝くじ文化公演「欺瞞と戯言」竹下景子他。入場者数 364 人。(集客率 93%)
- ・ イルカ 40 周年記念コンサート 入場者数 351 人。(集客率 91%)

地域社会活動の振興を目的にした事業。

- ・ みのぶジュニアコーラスコンサート。入場者数 400 人。
- ・ 貸館事業ではあるが、和太鼓好きな子どもたちのみのぶ若竹キッズコンサートへの協力。

夏の青少年健全育成及び社会活動の交流の場を提供するための事業。

- ・ 身延バンドフェスタ(青少年育成町民会議と共催)。入場者数 200 人。
- 夏休み中の親子のふれあいを目的にした事業。
- ・ 夏休み親子映画会(商工会青年部と共催)。入場者数 300 人。

|                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| 決算額：平成 24 年度チケット販売収入決算額  | 3,499,200 円            |
| 平成 24 年度自主事業費決算額         | 10,485,926 円           |
|                          | (うち報償費決算額 8,883,435 円) |
| 平成 24 年度自主事業(8 公演)の総入場者数 | 2,778 人                |

#### \* 成果

平成 24 年度は、無料公演を含めて 8 企画の自主事業を実施したが、そのうちの有料公演の 4 公演が集客率 80%以上となり、全ての有料公演において目標の 8 割を上回る入場者があった。

#### \* 課題

町の財政状況が厳しいなか自主事業の予算は限られている。公演内容は、過去の公演の集客状況、利用者アンケートなどを踏まえながら、年齢層も考慮し、多くの町民にバ

ランスのとれたプログラムを提供することによって、集客率や満足度の高い公演を実施できるように努めていく必要がある。

また、宝くじ文化公演や NHK 公開番組などの事業には、公演費用の助成制度があり、公演内容も充実しているため積極的に活用していく。

### **総合文化会館舞台大規模修繕事業**

#### **\* 事業概要**

舞台の照明用ボーターケーブルが耐用年数を経過したので、舞台の安全確保と不具合を防止するため交換修繕を実施した。

決算額：舞台照明用ボーターケーブル交換修繕費 6,478,500 円

#### **\* 成果**

照明用ボーターケーブルを更新したことにより、安全に舞台が使用できるようになり、断線や劣化による火災等のトラブルの心配もなく安全性が確保できた。

#### **\* 課題**

開館後 16 年が経過し、施設、設備、機器にも劣化がみられる。舞台設備を中心に大規模修繕を 3 年計画で優先順位を付け実施してきた。平成 24 年度においては、舞台照明用ボーターケーブル交換修繕及び建物外壁補修修繕を行なったが、今後も劣化による設備機器等の修繕が見込まれる。これについては定期的な保守点検の結果をふまえて対応していく。

平成 25 年度においては、舞台電気設備の制御部等が耐用年数に達しているため、電気トラブル、落下事故防止のため、電機制御部品の交換修繕を行い舞台の安全確保に努める。

## **2. 歴史と文化遺産の継承**

### **(1) 文化財の保護と活用**

#### **埋蔵文化財（町内遺跡）保護事業**

#### **\* 事業概要**

埋蔵文化財は地域の歴史や文化の成り立ちを理解する上で欠くことのできない国民共有の歴史資産である。埋蔵文化財包蔵地の周知徹底を図るとともに、包蔵地内での各種開発行為に対しては、文化財保護法により事業主体者に届出・通知など必要な手続きを依頼し、開発行為により遺跡がやむなく破壊される場合は発掘調査等の記録保存を行う。また、埋蔵文化財保護行政の推進に資するため、担当職員として必要な知識や技術の研修会に参加する。

町内の遺跡数 74 遺跡

#### **\* 成果**

埋蔵文化財保護事業は、各種開発計画を事前に把握することが重要である。開発計画の円滑な進捗と遺跡の保護措置とが適切な状況で調整できるように、県教育委員会や県及び町開発部局との連携と情報共有を行うことができた。

包蔵地有無照会件数 80 件、県への届出・通知件数 3 件、試掘・立会調査件数 4 件、本発掘調査件数 1 件

本発掘調査は、大野区の県道改良工事に伴う堤防遺跡の調査である。調査期間が長期に亘るため開発部局と協議し、発掘調査を公益財団法人山梨文化財研究所へ委託することになった。限られた時間と予算の中で遺跡の記録保存という所期の目的を達成できた。また、調査終了前には現地説明会を開催し、地元住民を中心に多くの参加者が集まり、埋蔵文化財の普及啓発に繋げることができた。

#### \* 課題

平成 24 年度は大野堤防遺跡のほか、中部横断道工事に伴って県埋蔵文化財センターが本城山遺跡（大島）と常葉川堤防遺跡（波高島）の発掘調査を実施した。今後発掘調査の成果を町民等に公開する場を設け、埋蔵文化財の保護に理解を求めていきたい。

### 文化財保存事業

#### \* 事業概要

文化財は、町の歴史文化を知る上で重要であり、保存及び活用のため必要な措置を講ずることで町民文化の向上に資するとともに、文化の振興に貢献することを目的として指定されたものである。

文化財所管件数 226 件（平成 25 年 3 月 31 日現在）

貴重な文化財を後世に確実に伝え、生涯学習や地域振興など多方面での活用を推進・展開するため、主に以下の事業を実施した。

文化財の保護・保存に係わる事業（補助対象外）

- ・国指定天然記念物 身延町ブッポウソウ繁殖地保存事業
- ・町指定文化財の巡視
- ・文化財防火対策事業（文化財防火デーへの協力）
- ・特別天然記念物カモシカの保護
- ・町指定天然記念物早川橋のモクゲンジの保護

文化財の指定に係わる事業

- ・文化財保護審議会の運営
- ・富士山世界文化遺産登録の推進（イコモス現地調査への対応）
- ・未指定文化財の掘り起こし
- ・指定文化財の再調査（県指定候補への推薦）

文化財啓蒙普及事業

- ・文化財説明板の設置
- ・化石公園の管理・公開（盗掘防止看板設置）

## \* 成果

本遠寺の大クスノキが県指定天然記念物に指定された。

身延町ブッポウソウ繁殖地保存事業の中で、近年ブッポウソウが飛来し、繁殖している区域の特定ができた。

町内でカモシカが発見された場合の対応マニュアルを作成し、町民へ周知することができた。

## \* 課題

懸案事項であった文化財建造物の防災施設整備は、所有者の協力のもと一部改善が図られた。また、今年度は美術工芸品等動産の町指定文化財について、管理の状況を把握する目的で、所有者等に所在確認を依頼した。これにより概ね滅失等がないことを確認できたが、保管方法に不安を抱える所有者もあり今後の課題としたい。

なお、昨年度旧古関小学校収蔵の民俗資料（民具等）を整理台帳化したが、今年度古関地区のドクターヘリポート整備に伴って校舎が取り壊されたため、資料を旧豊岡小学校へ移設した。台帳を整備したことにより資料が有する情報が失われることはないが、資料自体の劣化が著しいため、今後移設するたびに破損する可能性が高い。適切な保存・活用方法について今後の課題としたい。

## 文化財保存事業補助金交付事業

### \* 事業概要

身延町文化財保存事業補助金交付要綱に基づき、文化財の管理あるいは修理に必要な経費について補助金を交付する。

## \* 成果

平成 24 年度は以下の事業について補助金を交付し、文化財の適切な保存を図ることができた。

|   |       |             |
|---|-------|-------------|
| ・重要文化財 門西家住宅防災保守点検事業                              | 補助交付額 | 27,555 円    |
| ・重要文化財 本遠寺本堂・鐘楼堂防災保守点検事業                          |       | 45,000 円    |
| ・県指定天然記念物 本妙寺のイチョウ保存事業(枯枝除去)                      |       | 178,000 円   |
| ・無形民俗文化財保存継承事業 <small>(西島の神楽・長塩の獅子舞・下山甚句)</small> |       | 100,000 円   |
| ・町指定文化財 一宮賀茂神社本殿防災施設事業 <small>(自動火災報知機設置)</small> |       | 145,000 円   |
| ・町指定文化財 身延山総門保存修理事業 <small>(瓦屋根葺替及び部分修理)</small>  |       | 6,560,000 円 |

## \* 課題

町民共有の貴重な財産である指定文化財の保存事業は、町が支援すべき重要な事業であり、今後も所有者等と協議し、継続していく必要がある。

## (2) 地域文化の継承と育成

### 微笑館管理運営事業

#### \* 事業概要

木喰上人の生家がある丸畑集落に、独特の微笑をもつ上人作の仏像やこれに関わる古文書、資料を収集・展示している。臨時職員 1 名が常駐し、来館者の対応と施設の運営・管理を行う。

入館料：大人 200 円、小中学生 100 円

#### \* 成果

交通条件の悪さから年間を通して来館者は少ないが、県内外からは生涯学習活動での視察、あるいは、観光シーズンや長期休暇を利用した全国に存在する木喰仏の研究等のため、貴重な文化的資料を観覧し、専門性を高めようと訪れる方々がいる。

有料入館者数：大人 1,164 人、小中学生 13 人、合計 1,177 人

収蔵資料をカビや虫食いから守るため、専門業者に委託して燻蒸作業を行った。また、県立博物館主催の夏休み自由研究プロジェクトに参加し、木喰上人に関する小中学生向けのミニブックを作成した。

前年度課題であった施設の管理委託については、平成 25 年度において委託先を確保することができた。

#### \* 課題

今年度木喰の里の中核施設として活かしていくため、丸畑周辺の散策マップを作成した。今後も道の駅しもべや近隣住民との連携を図り、木喰上人の遺徳を広めていきたい。

### 歴史民俗資料館運営事業

#### \* 事業概要

西嶋和紙に関する製造用具や大聖寺関連の文化財、富士川舟運の古文書等を中心に、町内出土の縄文土器や民具、化石等の歴史・文化に関する資料なども収集・展示している。開館は、事前の連絡や見学予約を受ける中で開館対応している。

入館料：大人 200 円、小中学生 100 円

#### \* 成果

有料入館者数：大人 47 人、小人 0 人

常時開館はしていないため、年間の来館者は少ない。町内小中学校の校外学習で利用されることも多く、この場合は、入館料は免除している。町のホームページ等で見学には事前予約が必要である旨周知している。

山梨県立博物館企画展『黒駒勝蔵対清水次郎長 時代を動かしたアウトロー』および『水の国やまなし 信玄堤と甲斐の人々 -』に展示資料を出品した。

#### \* 課題

前年度の課題は、施設の運営方法について業務委託等の導入を検討することであったが、適当な委託先が見当たらない現状は変わらない。依然として当日の見学希望者があり、その度に担当者が施設を開けている。運営体制については引き続き検討が必要である。

### **旧市川家住宅管理運営事業**

#### **\*事業概要**

和田に所在する県指定文化財旧市川家住宅の中に、市川家ゆかりの民俗資料や富士川舟運の模型を展示し民俗資料館として公開している。日常的な管理は文化財の旧所有者に委託している。

#### **\*成果**

入館料を無料としているため実数は定かでないが、入館者名簿から年間千人を超える人に利用されている。また、町内外の小学校の校外学習で利用され、地域の教育資料として活用された。

昨年度の課題は、住宅内の展示資料の台帳整備であり、この課題に対応すべく緊急雇用創出事業を活用して整理作業を行なった。

#### **\*課題**

整理作業の結果、民具 340 点、古書 260 点の基礎的データが得られたため、今後資料の保存活用に活かしていきたい。なお、旧市川家住宅は設置管理条例が制定されていない。来年度以降の課題としたい。

### **金山文化の継承と保存**

#### **\*事業概要**

湯之奥金山の歴史は、平成元年度から平成 3 年度にかけて「ふるさと創生事業」「地域づくり推進事業」の中で取り組んだ湯之奥金山発掘調査により解明された。この調査は、金山に関する著名な諸先生によって行われ全国的な注目を集めた。その調査結果として、湯之奥金山は日本金山史においても、非常に貴重な文化遺産であると認められた。甲斐黄金村・湯之奥金山博物館は、歴史的、学術的に価値の高い湯之奥金山遺跡関係資料をはじめ、日本における産金の歴史に関わる資料を展示し、その保存及び活用を通じ、学術文化の振興と観光振興を目的として運営されている。年間通じて行われている博物館事業は、地域の文化や歴史を広く伝えるという方針により実施されている。

運営体制：館長 1 人（非常勤） 職員 3 人、臨時職員 1 人、繁忙期パート雇用者有り  
館の運営については、年に 2 回博物館運営委員会において審議し運営の方向性などを決定している。

主要事業： 第 12 回こども金山探険隊 参加者約 40 人(保護者含む)  
第 12 回砂金掘り大会・第 9 回東西中高校交流砂金掘り大会

参加者 164 人 参加校 5 校  
親子映画鑑賞会（年 5 回開催） 参加者約 150 人  
第 4 回科学実験教室 参加者 47 人  
シルバーアクセサリ作り教室 年 2 回開催 参加者 21 人

収入：博物館使用料 11,083,809 円  
博物館売店等売上 9,211,222 円  
支出：52,790,790 円

### \* 成果

昨年度の課題は利用者の増加と P R 方法の改善であった。遺跡見学会、こども金山探険隊、東西中高交流砂金掘り大会などの事業は定着し、金山博物館は観光のひとつともなっている。尚一層の集客のため、観光課とタイアップした県外での P R 活動、利用者の多い県内の道の駅へのパンフレット及び割引券の設置なども行なった。各種マスコミ取材への積極的な協力、児童を対象とした遠足、課外授業の受け入れ等により年々成果が出ている。また、町内の学校についても町内めぐりの授業の中に組み込まれるようになり、児童の社会科見学を通して家族が来館してくれるという良いサイクルが出来上がっている。

平成 23 年度は世界的な金の高騰を受け 8 月以降マスコミ各社から生中継を含めた取材などがあり瞬発的な入館者数を記録した。しかし、今年はそうしたブームがなく、さらに年末には中央道笹子トンネルの崩落事故による首都圏からの観光客の足止めで大きな落ち込みがあったが、全体としては例年と同等数の入館者を確保できた。

### \* 課題

夏のこども金山探険隊・砂金掘り大会は毎年好評をいただいている。今後も多くの皆さんに博物館の良さを知ってもらうための P R 方法として継続していくべき事業である。加えて既存事業のバージョンアップもしつつ新しい事業に取り組んでいく。

現在、金価格が高騰しており金への関心から入客の増加をはかりたい。より多くの P R の場に積極的に参加し、直接金山博物館の魅力、ひいては身延町の魅力を伝えることが大事なので、各関係施設、機関と協力して広報活動を継続していくこととする。

## 湯之奥金山博物館改修事業

### \* 事業概要及び成果

開館後 16 年経過し、施設の老朽化による不具合の改善については毎年予算の範囲内で少しずつ行っている。特に平成 24 年度は雨漏りが随所に見られ、水回り施設もリバーサイドパーク建設時のものを利用しているため、経年劣化による故障も随所に出てくるようになった。また、防犯対策では防犯カメラ設置等を設置し、非常灯の電池の取替えも実施した。

屋上排水用穴あけ工事 84,000 円

|             |             |
|-------------|-------------|
| 湯水ポンプ取替修繕工事 | 777,000 円   |
| 防犯対策費       | 2,187,570 円 |
| 非常灯蓄電池交換    | 453,600 円   |

#### \* 課題

昨年は映像改修などの交付金があり、展示室のリニューアルについて一歩前進を見た  
が、映像シアターの映像がまだ手付かずの状態にある。この映像については博物館開館  
時に制作され、その後に判明している金山衆の姿との相違があるため、全編の入れ替え  
を検討する必要がある。しかしながら、相当な経費を要するので今後予算の確保につい  
て検討していきたい。

施設修繕については、大規模修繕に至る前に日々の点検を実施し、早めの対応を進め  
ていきたい。